



BANKER'S ふるさと納税

～企業版ふるさと納税～

- ・北海道地方
- ・東北地方



まちづくりの応援団として、未来をカタチにする。

地域再生計画

おまとめBook



企業版ふるさと納税とは？



企業版ふるさと納税とは、国が認定した地方公共団体の地方創生事業に対し企業が寄付を行った場合に、その寄付について法人関係税を税額控除する仕組みです。

POINT 1

寄付金額は、
全額損金参入が可能です。

さらに

POINT 2

法人関係税の
税額控除 (寄付額の最大6割)
を受けられます。



寄付をすることで法人関係税の税額控除につながり、
SDGsを通じた企業価値の向上・地方創生に貢献もできる仕組みです！



寄付の流れ



1

ご相談・お申込み

企業様→銀行またはRCG
対象事業や寄付金額が
決定しましたら、
各自治体の寄附申出書
をご提出頂きます。

2

ご寄附

企業様→自治体
自治体から払込票が
届きますので、
寄附の払い込みを
お願い致します。

3

受領書の交付

自治体→企業様
着金確認後、
自治体から受領書を
発行・送付いたします。

4

税申告のお手続き

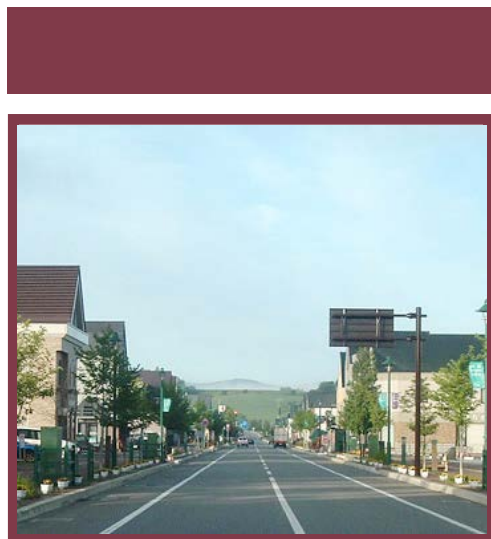
企業様→税務署
受領書を使用して、
税申告のお手続きをお願いいたします。
(顧問税理士がいらっしゃる企業様は、
税理士へお渡しください)

BANKER'S ふるさと納税 連携自治体

(2026. 8. 17現在)

1	北海道	美瑛町	21	宮城県	蔵王町
2	北海道	北広島市	22	宮城県	松島町
3	北海道	留萌市	23	宮城県	岩沼市
4	北海道	八雲町	24	宮城県	名取市
5	北海道	札幌市	25	宮城県	女川町
6	北海道	函館市	26	山形県	西川町
7	北海道	富良野市	27	山形県	庄内町
8	青森県	東北町	28	福島県	下郷町
9	青森県	七戸町			
10	青森県	八戸市			
11	岩手県	大船渡市			
12	岩手県	雫石町			
13	岩手県	盛岡市			
14	宮城県庁				
15	宮城県	利府町			
16	宮城県	多賀城市			
17	宮城県	登米市			
18	宮城県	大衡村			
19	宮城県	富谷市			
20	宮城県	村田町			

びえいちょう 美瑛町



丘のまち びえい

美瑛町は北海道のほぼ中央に位置し、なだらかな波状丘陵と雄大で緑豊かな自然環境が魅力のまちです。

小麦、甜菜、豆類、馬鈴薯などの畑作農業を基幹産業としつつ、「日本で最も美しい村」連合の取組みをはじめとした、美しい景観を有効活用し次の世代に伝える取組みも行っています。

また、十勝岳連峰を一望に見渡せる山麓にある美瑛町には、雄大な展望と良質な泉質を誇る温泉街や幻想的な観光スポット「青い池」をはじめ、サイクルイベントやスキーマラソンなど、様々なイベントを行っており、年間約260万人の観光客が訪れています。



出所：美瑛町HP

資料提供
北海道 美瑛町

〒071-0292
北海道上川郡美瑛町本町4丁目6番1号

TEL：0166-92-4330
FAX：0166-92-4414

01 地域産業の活性化による仕事の創生事業

農業、商工業、観光業などあらゆる分野の産業を活性化させ、多様な働き方ができる仕事の場を創出します。

【具体的な取組】

- ・ 起業・開業を目指す人への支援
- ・ 地域経済への投資促進
- ・ まちの将来を担う後継者の育成支援 等

02 新たな人の流れの創生事業

ここにしか存在しない地域資源や美しい自然景観、充実した子育て支援策や福祉施策など総合的な情報を集約・発信すること等により、当町への人の流れを創出します。

【具体的な取組】

- ・ U I J ターン希望者への積極的なアプローチとプロモーションの強化
- ・ インバウンド受入体制の強化
- ・ 魅力ある景観づくり活動の推進 等

03 結婚・出産・子育ての希望が叶うまちの創生事業

保護者の育児や経済的負担の軽減、相談支援体制の充実を図るなど、結婚、妊娠、出産、子育てに至る切れ目のない支援を行うことで、こどもを生み育てたいと望む人が希望を叶えることができる環境づくりを推進するほか、子どもの個々の特性や教育的ニーズに沿ったきめ細やかな指導に取り組めます。

【具体的な取組】

- ・ 妊産婦検診への支援
- ・ 子育てに関する相談体制の強化
- ・ I C T を活用した教育の推進 等

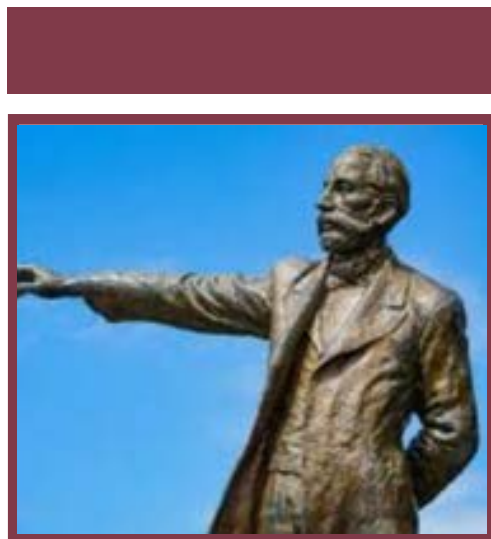
04 魅力的なまちの創生とシティプロモーション事業

危機対策をはじめ、交通安全や防災などの暮らしの安全対策、消防や救急・救助などの緊急時の対策を強化し、町民が安心、安全に暮らせるまちづくりを推進するほか、企業、大学など様々な機関との連携強化を図ることで、当町ならではの特色あるまちづくりを地域活性化を推進します。

【具体的な取組】

- ・ 災害に強い交通インフラの確保
- ・ 交通安全啓発活動の推進
- ・ 企業・大学連携によるまちのプロモーション 等

きたひろしまし 北広島市



輝く緑 大志が育つ 北広島

北広島市は、札幌市と新千歳空港の間に広がるなだらかな丘陵地帯にあり、豊かに息づく緑の環境、ゆとりの土地空間、整備された交通網など自然と都市機能が調和した街です。

明治17年(1884年)に広島県人25戸103人が集団移住し、開拓の鍬がおろされてからおよそ140年。道央圏のなかで宅地開発や工業団地の造成、都市施設の整備が着実に進められ、平成8年(1996年)9月に市制を施行しました。

クラーク博士が『ボーイズ・ビー・アンビシャス』の名言を残したゆかりの地。そのフロンティア精神を受け継ぐ人々が住むこのまちは、美しい生活文化都市の創造のため、歩み続けています。



出所:北広島市HP

資料提供

北海道 北広島市

〒061-1192

北海道北広島市中央4丁目2番地1

TEL : 011-372-3311

FAX : 011-372-3850



北海道ボールパークF ビレツジ（北広島市）

©H.N.F.

小さなまちの、大きな挑戦

北海道北広島市は、人口約5万7千人のまちで、令和5年（2023年）3月に、北海道日本ハムファイターズの新球場「エスコンフィールドHOKKAIDO」を核とした「北海道ボールパークFビレツジ」が開業した、挑戦しつづけるまちです。

北海道の地方創生を応援！！

令和9年度の開業を目指し、Fビレツジに隣接する「JR新駅」の設置に向けた取組を推進しています。
北海道の地方創生のため、あたたかいご支援、よろしくお願い致します。



出典：北海道旅客鉄道株式会社のJR新駅イメージ図

個人のふるさと納税



ふるさと納税サイト
（北広島市）



企業版ふるさと納税

最大で寄附額の約9割の法人関係税が軽減されます。
お気軽にご連絡下さい。



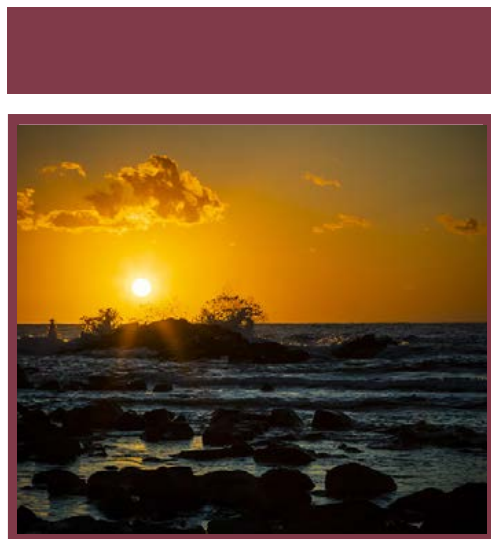
The Ambitious City
一大志をいだくまちー HOKKAIDO 北広島市

北海道北広島市役所
企画部 企画課
☎011-372-3311



出所：北広島市HP

る も い し 留 萌 市



誇りと満足を目指す みなとまち留萌

留萌市は「汐が奥深く入る川」という意味のアイヌ語のルルモッペが語源の市名であり、自然豊かなまちです。日本の夕陽百選に選ばれた「黄金岬の夕陽」や、「世界三大波濤」に数えられる波風など、四季折々の情景が見られる地としても知られています。

かつてニシン漁で栄えた伝統を受け継ぎ、日本一の生産量を誇る「音を食べる」と表現されるパリパリの食感の「塩かずの子」などの質の高い水産加工品や、全国食味分析鑑定コンクール3年連続金賞のつや、粘り、甘みのバランスが抜群で冷めても美味しい「ななつぼし」をはじめとした良質な南るもい米と、海の幸、山の幸に恵まれています。



出所：留萌市HP、観光サイト

資料提供
北海道 留萌市

〒077-8601
北海道留萌市幸町1丁目11番地

TEL：0164-56-5001
FAX：0164-43-8778

1 留萌市の特性と資源を活かした、魅力ある産業と仕事を作る

(1)再生可能エネルギーの拠点形成

(2)食料安全保障の拠点形成

(3)地域産業の振興

(4)食品製造の拠点形成

【 具体的な事業 】

- ・海洋再生可能エネルギー発電等調査研究事業
- ・地域経済循環分析・推進事業
- ・新規漁業就業者支援事業
- ・地元企業応援助成金
- ・産学官連携強化事業 等



2 留萌市の魅力を広く伝え、新しいひとの流れをつくる

(1)アウトドア観光の拠点形成

(2)関係人口の創出・拡大

(3)移住・定住の推進

【 具体的な事業 】

- ・全国道の駅シンポジウム連携事業委託料
- ・地元企業人材確保応援事業
- ・アウトドア商品等開発事業
- ・客船寄港歓迎事業
- ・るもい定住促進・住環境向上支援助成金
- ・移住応援助成事業



3 若者の結婚・出産・子育ての希望をかなえ、次世代を担う人材をつくる

(1)未来志向型教育の拠点形成

(2)子育て環境の充実

(3)学校教育の充実

【 具体的な事業 】

- ・るもいECタイム導入事業
- ・学力・学習意欲向上支援事業(小・中学校)
- ・多子世帯保育料無償化事業
- ・子ども医療費無償化事業
- ・小学校給食費無償化事業
- ・子育て世帯訪問支援事業
- ・乳児等通園支援事業 等



4 市民が安心して健やかな暮らしを送れる、地域社会をつくる

(1)地域公共交通の確保

(2)市民が安心して暮らせる医療体制の確保

(3)社会教育の充実

【 具体的な事業 】

- ・高齢者市内バス無償化事業
- ・JR留萌線代替輸送事業
- ・温泉施設送迎車両運行事業
- ・看護師等修学資金貸付事業
- ・带状疱疹予防接種助成事業
- ・寺子屋・るもいっこ事業
- ・温水プール利用促進事業



やくもちょう 八雲町



～太平洋と日本海 二つの海を持つまち～

八雲町は、北海道木彫り熊発祥の地として近年注目を集めており、恵まれた自然環境の中で漁業、農業が盛んに行われています。1次産業として、水産業では太平洋と日本海、2つの海と隣接している為、ホタテや鮭、アワビやウニをはじめとする海産物の宝庫になっております。農業では、軟白ねぎをはじめ、道南で唯一もち米団地を有し、「風の子もち」を生産するほか、多種多様な農産物が作られております。酪農では、「近代酪農発祥の地」として、酪農研修牧場やメガファームなどを導入し、道南酪農への新規就農の入り口として、自立した牧場経営の実現を目指して取り組んでいます。



出所：八雲町HP

資料提供

北海道 八雲町

〒049-3192

北海道二海郡八雲町住初町
138

TEL : 0137-62-2300

FAX : 0137-62-2120

産業を活性化し、いきいきと働けるまちをつくる事業

人の転入や定着には経済的安定性が必要であり、そのためには地域経済における活力の維持が必要です。

八雲町の地域経済は基幹産業である農業と水産業が他の産業を下支えしている構造となっていることから、農業・水産業の活性化を通じて、地域経済の活性化を図ります。

【具体的な取組・事業】

・ サーモン種苗生産事業

八雲町でのトラウトサーモン海面養殖を先行事例として、道内各地でも海面養殖試験が始まっています。この種苗需要が高まっている一方で、道内では大規模な種苗生産は行われていません。この種苗の供給量が不足している状態を解決すべく、八雲町は熊石サーモン種苗生産施設の規模拡大を目指して事業に取り組んでいきます。

・ 醸造(ワイン)用ぶどう栽培事業

近年の温暖化の影響により果樹栽培に適する気候条件へと変化していく中で、八雲町は新たな事業の創出に向けて、平成30年度からワイン用ぶどうの試験栽培を開始し一定の成果が得られたことから、令和5年度から本格的な栽培に移行しています。今後、令和12年度まで欧州系ぶどう品種を毎年2,000本ずつ植樹していく計画としており、事業計画や基本構想を策定し民設民営でのワイナリー開設を目指していきます。



さっぽろし 札幌市



「都市」と「自然」 の調和する街 札幌



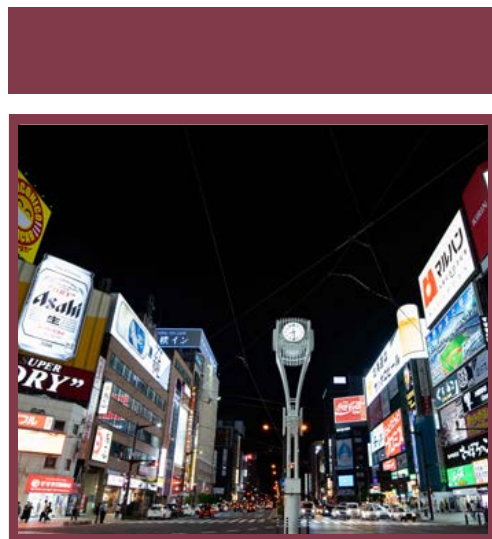
札幌は北海道の行政・経済・文化の中心地であり、人口197万人が住む北日本最大の都市です。

ビルや住宅が建ち並ぶ「都市」としての機能と、郊外に広がる「自然」という二つの要素を併せ持っており、この「都市と自然の調和」が札幌の特徴となっています。

また、四季折々の景色が楽しめ、特に冬季には期間中200万人近い来場者を誇る“さっぽろ雪まつり”が開催されるほか、市内に複数のスキー場を有するなど、豊富な冬のアクティビティを楽しむことができます。

JR・地下鉄が整備されていることから交通アクセスがよく、今後、北海道新幹線の札幌延伸が予定されており、益々利便性が向上することが期待されています。
魅力的なこのまちを次の世代に引き継いでいくために皆様のご支援をよろしくお願い致します。

出所：札幌市HP



資料提供
北海道 札幌市

〒060-8611
札幌市中央区北1条西2丁目

TEL：011-211-2281
まちづくり政策局政策企画部公民
広域連携推進室推進課

札幌市の地方創生プロジェクト～主な寄付対象事業～



ゼロカーボンシティ を目指して

～次世代を担う子どもたちの未来のために
持続可能なまちづくりを～

札幌市では市内から排出される温室効果ガスを実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」の実現に向けた取組を進めています。寄付金は、今注目されている水素エネルギーの普及に活用します。



大学応援プロジェクト

札幌市内12の大学では最先端の研究や多様な分野で活躍する人材の育成のほか、地域社会の課題解決に資する活動などの様々な取組が行われています。頂いたご寄附は、市内の大学・短期大学や学生が行う公益的な事業への支援、大学間連携に資する取り組みの推進等に活用します。



NoMap支援事業

先端テクノロジーや斬新なアイデアを軸として、「新しい価値観/文化/社会の姿」を提案するコンテンツをテーマに、「会議 (Conference)」「展示 (Exhibition)」「興行 (Event)」「交流 (Meet-up)」「実験 (Experiment)」の5つの事業によって、新たなイノベーションや人的な繋がりを生み出し、社会を加速させるための場を提供するNoMapsの支援事業に活用致します。



PMFの支援

～世界から札幌に、札幌から世界に～

世界三大教育音楽祭のひとつといわれるPMF。才能あふれる若手音楽家がPMFで学び、世界を舞台に活躍するための機会として、渡航費や滞在費等を負担する支援に寄付を活用致します。



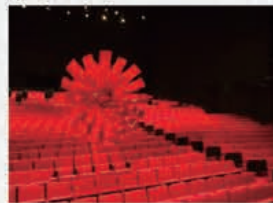
障がいのある方の支援

障害のある人の社会参加や福祉の向上を支援する活動を行う民間団体に対して助成金等として活用します。



地域福祉の振興 「地域福祉振興基金」

誰もが安心して暮らすことのできる地域福祉社会の実現のために市民参加による福祉活動の推進事業に活用します。



札幌国際芸術祭の開催

札幌国際芸術祭は、3年に一度、札幌で世界の最新アート作品に出合える、特別なアートイベントです。次回開催は令和8年に予定しており、企画準備やプロモーション、プレイベントの開催などを行うために活用します。



市民活動の促進 「さぼーとほっと基金」

さぼーとほっと基金では、もっと住みよいまちにするために、そして、もっとまちに笑顔があふれるように、福祉や子育て、まちづくり、スポーツ・文化など札幌市のまちづくり活動を支援するために活用します。



STARTUP HOKKAIDO支援

北海道らしいスタートアップの重点領域として「一次産業・食、宇宙、環境・エネルギー」の3産業に注力支援を行い、北海道を「アジアのスタートアップアイランド」へと発展させ、北海道そして日本の経済活性化と持続可能な社会の実現に向けた活動に活用します。



スポーツの振興

～スポーツによるまちづくり～

豊富な雪と都市機能が調和する世界有数の都市として、ウィンタースポーツを始めとするスポーツの普及・振興を図るための取組や、スポーツ施設の整備などに活用します。



さっぽろ圏「ひとづくり」 プロジェクト

圏域を支える人材を育成・確保し、持続可能な「まちづくり」につなげるため、頂いた寄付は以下の事業に取り組みに活用します。

- ◆「まち」で活躍する
- ◆「ひと」を増やす取り組み
- ◆「まち」の将来を担う
- ◆「ひと」を育てる取り組み
- ◆「まち」の暮らしを支える
- ◆「ひと」を増やし育てる取り組み



ウェルネス何スル？ ～カラダにイイこと、もう一歩～ ウェルネス★プロジェクト

～生涯健康で自分らしく活躍できるまちに！～

大事とはわかってはいても、普段忙しくて、後回しになってしまう「健康」。健康寿命の延伸に向けて、健康チェックや歩数の企業対抗など、様々な面から健康意識の醸成と健康的な行動の促進に取り組んでいます。頂いた寄付を活用して、「健康」をもっと楽しく身近にする取組を一層充実していきます。

はこだてし 函館市



世界から注目されるまち 「HAKODATE」へ

函館市は、歴史的町並みや美しい景観、豊かな自然や食などの魅力にあふれる観光都市です。この魅力を最大限に生かしながら、学びたい・学ばせたいと思える学びの環境整備など「未来をひらく人が育つ」事業や、若者や女性など多様な人材が働きやすい環境整備、創業支援やDX・GX推進など「働きがいのあるしごとの創出」に取り組めます。

また、医療・福祉の維持やジェンダーギャップ解消などの「健康で充実した生活」に向けた事業、美しい町並み整備や移住の促進、文化やスポーツの振興を通じた「住むひと・訪れるひとに魅力あるまち」の追求など、周辺市町とも連携しながら、世界から注目される魅力あふれるまちづくりを進めていきます。



出所：北海道 函館市

資料提供
北海道 函館市

〒040-8666
北海道函館市東雲町4番13号

TEL：0138-21-3111

01 結婚・出産の希望がかない、未来をひらくひとが育つまちをつくる

一人ひとりが望むライフプランを実現できるよう、結婚や出産を望む方への支援や切れ目のない子育て支援に取り組むとともに、全ての子どもが家庭環境や経済状況などによらず安心して学ぶことのできる環境を整備してまいります。

加えて、多様な高等教育機関が集積する強みを生かし、近隣自治体や民間事業者等と連携して地域のニーズに応じた人材育成を進めるなど、地域の将来を担う人材が育まれる環境も整備してまいります。

【具体的な事業】

- ・ 保育士等確保対策事業
- ・ 子どもの居場所づくり推進事業
- ・ デジタルAIドリル運用事業
- ・ 未来のIT人材育成推進事業 等

02 働きがいのあるしごとを創出し地域経済を活性化します

地域経済を支える中小企業や小規模事業者の成長発展を促すため、新製品開発や販路拡大に対する支援を行うほか、首都圏企業等へのシティセールスなど企業誘致の一層の拡大に取り組むとともに、職場や家庭におけるアンコンシャス・バイアスの解消に向けた取組など、若者や女性、高齢者など多様な人材が働きやすい環境整備を支援します。

また、一次産業従事者の所得向上や担い手の確保、農水産物の販路拡大に向けた取組を進めるほか、カーボンニュートラルの実現に向けて、再生可能エネルギーの導入促進や関連産業の振興および港湾の活性化を図ってまいります。

【具体的な事業】

- ・ 市内企業のDX・生産性向上支援や若者の創業を支援する事業
- ・ 首都圏IT関連企業などの企業誘致促進事業
- ・ 農林水産業の持続的な発展に向けた担い手確保事業
- ・ 女性・高齢者等の潜在人材活躍推進事業 等

03 いつまでも健康で充実した生活を送ることが出来るまちをつくる

生活習慣病の発症予防・重症化予防など、市民の健康寿命の延伸を目指すとともに、障がい、子ども、生活困窮、ひきこもりなど幅広い分野の課題に、世代を問わず対応できる体制の維持のほか、持続可能な町会運営への支援や各団体等と町会との連携支援など、地域住民とともに町会活性化に向けた取り組みを進めてまいります。

また、効率的な除排雪や道路等の適切な維持管理、利便性の高い公共交通体系など、暮らしを支えるサービスを充実させていくほか、ジェンダーギャップの解消をはじめとして、全ての人が社会的に孤立せず、多様性を力に変えられるインクルージョンの実現に向けた取組も進めてまいります。

【具体的な事業】

- ・ インクルージョン推進事業
- ・ 町会活性化推進事業
- ・ 健康寿命延伸事業
- ・ 地球温暖化対策事業 等

04 住むひと・訪れるひとにとって、魅力あるまちをつくる

住む人がまちの賑わいを感じられるよう、商店街等のイベント支援や年間を通じた各種イベントの開催など、民間事業者等と連携した地域の魅力発信を通して、来街者の増加や回遊を促し、賑わいの創出やまちの活性化を図ってまいります。

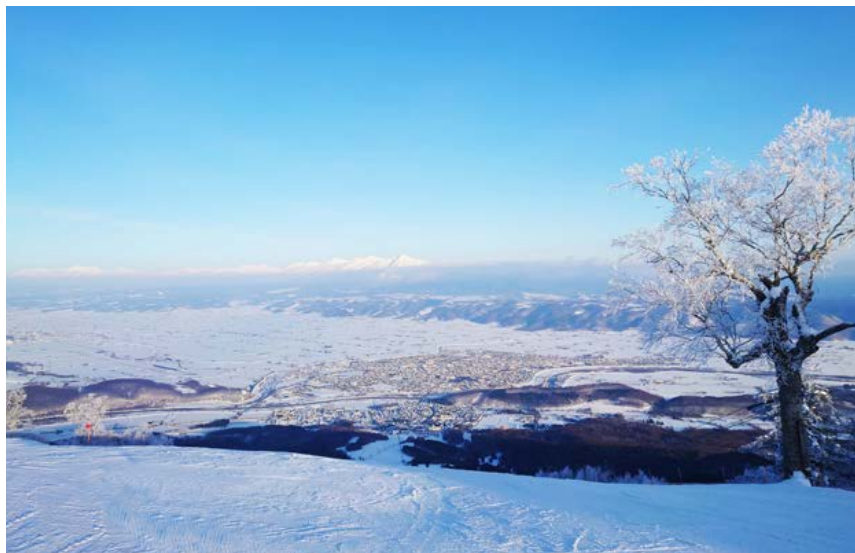
また、道南の近隣自治体のほか、道内や東日本エリアとも連携を強化し、観光資源の相互活用や効果的な情報発信を行うことにより、長期滞在を促す取組を推進するとともに、旅行者のニーズに対応した付加価値が高い観光コンテンツづくりやガイド人材の育成を行うことにより、受入体制の強化を図ってまいります。

さらに、広域交通ネットワークの充実や歴史と景観に配慮したデザイン性の高い美しい町並みの整備を進めるほか、当市が持つ歴史や文化の魅力の発信、スポーツイベントの開催などを通じ交流人口、関係人口の拡大、ひいては定住人口の増加を目指してまいります。

【具体的な事業】

- ・ 中心市街地賑わい事業
- ・ グリーン・ツーリズム推進事業
- ・ テレワーク移住促進事業
- ・ 文化芸術活動促進事業 等

ふらのし 富良野市



へそとスキーとワインのまち

北海道の真ん中に位置する『富良野市』は、肥沃な大地と豊かな自然のもと、農業と観光を基幹産業にするまちです。メロンや玉ネギ、にんじんなど多くの農産物が生産される国内有数の産地であるほか、「ふらのワイン」「ふらのチーズ」等に代表される特産品も多く、富良野ブランドとして高い評価を得ています。

また、北海へそ祭りやフラノマルシェ、富良野スキー場を中心とするスノーリゾートの拠点として、多くの観光客が訪れます。特に富良野盆地の雪はふわふわサラサラで、上質なパウダースノーを求めるスキーヤーやスノーボーダーが世界中から集まっています。

環境保全にも積極的で、徹底したゴミ分別とリサイクルを実践するまちでもあります。2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」を目指し取り組みを進めています。



出所北海道 富良野市

資料提供

北海道 富良野市

〒076-8555

北海道富良野市弥生町1番1号

TEL : 0167-39-2277

mail : fcp@furano.hokkaido.jp
総務部シティプロモーション推進課

「富良野市の4つの地方創生の取り組み」

01



輝く。

一人ひとり、違っていい。
あらゆるひとが、輝きを増すよう
に支援・応援し合う。

つながり
合う。

枠を越えてつながり合うことで
新しい輝きが生まれる。



学校教育コミュニケーション教育推進事業

○輝く。つながり合う。ひとのWA!事業

デジタルを活用した子育て支援の見える化、待機児童の解消・子育て世代への負担軽減等により、地域全体で安心して子育てできる環境を整備いたします。また、富良野でしかできない「体験プログラム・イベント」を通して郷土愛を醸成し、市民のまちづくりのアイディアの創出や交流活動の広がりから地域活性化を図る事業を展開いたします。



創る。

新たな付加価値を創造する。
新しいしごとを創り出す。

まわす。

地域を越えて
「ひと・カネ・価値」の循環を
創り出す。

02



ボンチパウダー推進事業

○創る。まわす。しごとのWA!事業

新規就農システムの構築、中小企業者等への店舗改修や家賃への補助、地元農産物等の加工品への認定制度、地域DMO事業の活性化など、地域内産業の付加価値を高めることにより、市民の所得の向上や新しい仕事の創出につなげるとともに、新たに就農や起業を考えている人へのチャレンジを支援いたします。

03



想う。

現在、過去、未来。それぞれの地域。
富良野が持つ魅力を大切に想う。

みがき
合う。

大切にしてきたものをみがき
合い、新たなスタイルを創造
する。



関係人口創出事業

○想う。みがき合う。まちのWA!事業

社会的ニーズの多様化・複雑化に対応した新たなマッチングシステムの構築、地域内ブランド力向上と広域プロモーションによる本市の価値を高める取組、テレワーク受入環境の整備、移住ワンストップ窓口・移住促進情報サイトの充実など、人・情報・もの・カネ・場所などのマッチングを促進し、個人や地域の課題解決や新たな企業間取引や雇用促進、将来的な移住促進などに繋がります。



感じる。

恵まれた自然から受ける恩恵を
感じる。小さな環境の変化を見逃
さない。

つなげる。

豊かな自然環境を未来へつなげ
る。新しい価値へとつなげる。

04



地球温暖化防止対策事業

○感じる。つなげる。自然のWA!事業

本市の豊かな山林や水系、美しい農村景観などの自然環境は、市民の生活と深く結びついており、さらに観光や移住・定住等の関係人口の創出においても本市の大きな魅力の一つとなっています。こうした豊かな自然を100年後の未来へ繋ぐため、ゼロカーボン・循環・自然共生などの各分野における多様な保全活動を進めるとともに、自然教育の推進などを通して市民の環境意識の醸成を図ります。

この他にも様々な事業があります。

詳しくはシティプロモーション推進課にお問い合わせいただくか、富良野市ホームページをご覧ください!



とうほくまち 東北町



笑顔・元気・活力あふれ 未来に羽ばたく とうほくまち

東北町は、青森県の東部、上北地方のほぼ中央部にあって、県東部の空の玄関である三沢空港や東北新幹線七戸十和田駅、高規格道路の上北道路など、首都圏をはじめ国内各地を結ぶ交通網が整備されている恵まれた立地条件にあります。

地勢は八甲田山系の山々から続く丘陵地、台地が大部分を占め、七戸川、砂土路川などの河川沿いに平坦地が広がっています。また、本町の東部一帯には県内で最大、全国でも11番目の面積を誇る小川原湖があります。



出所：東北町HP

資料提供
青森県 東北町

〒039-2492
青森県上北郡東北町上北南四
丁目32-484

TEL：0176-56-3111

01 まちの強みを生かした魅力ある仕事づくり

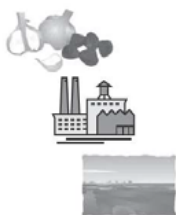
【政策の基本方向】

本町の地域特性を生かした産業の振興による町全体の活性化と雇用の場の確保、観光から定住・移住への展開を目指し、「第2次東北町総合振興計画」の『重点プロジェクト⑤農業・水産業活性化プロジェクト』・『重点プロジェクト⑥商工業振興・雇用確保プロジェクト』・『重点プロジェクト⑦観光客増加プロジェクト』に基づく取組を中心に、本町のまちづくりの中心を担う農業と水産業の活性化、商工業の振興と雇用の確保、観光機能の強化等に向けた施策を推進します。

(1) 自然の恵みを生かした農業・水産業の振興

(2) 商工業の振興と雇用対策の推進

(3) 多彩な資源を生かした観光・交流の振興



02 人の流れのある、住みたくなるまちづくり

【政策の基本方向】

転出者の減少と転入者の増加、住みたくなる快適で安全・安心、魅力あるまちづくりを目指し、「第2次東北町総合振興計画」の『重点プロジェクト⑩住宅整備・定住・移住促進プロジェクト』・『重点プロジェクト⑪環境共生のまちづくりプロジェクト』・『重点プロジェクト⑫災害に強いまちづくりプロジェクト』・『重点プロジェクト⑬市街地再生・創造プロジェクト』・『重点プロジェクト⑭住民自治・協働のまちづくりプロジェクト』に基づく取組を中心に、住宅の整備や定住・移住・結婚の支援、環境保全・環境衛生の充実、消防・防災体制の充実、市街地の再生とコミュニティの活性化・協働のまちづくり等に向けた施策を推進します。

(1) 住まいの確保と定住・移住の促進

(2) 環境と共生する住みよいまちづくり

(3) 災害に強い住みよいまちづくり

(4) 市街地の再生と住民自治・協働のまちづくり



03 生みやすく育てやすい環境づくりと人財の育成

【政策の基本方向】

子どもを生み育てたいと思う人々の希望の実現、この町で子どもを教育したいと思う環境づくり、未来を切り拓く人財の育成を目指し、「第2次東北町総合振興計画」の『重点プロジェクト①子育て環境（U環境）向上プロジェクト』・『重点プロジェクト②子どもの教育環境向上プロジェクト』に基づく取組を中心に、子どもを生みやすい環境（U環境）・育てやすい環境（S環境）の向上、子どもの教育環境の向上及び国際交流の充実等に向けた施策を推進します。

(1) 生みやすく育てやすい環境づくり

(2) 未来を切り拓く人財の育成



04 みんないきいき、健康長寿・スポーツのまちづくり

【政策の基本方向】

町民が生涯にわたって健康やかに安心して暮らし、長生きできる環境づくり、スポーツの盛んな町として明るく豊かなまちづくりを目指し、「第2次東北町総合振興計画」の『重点プロジェクト③健康長寿の環境（K環境）向上プロジェクト』・『重点プロジェクト④スポーツのまちづくりプロジェクト』に基づく取組を中心に、保健・医療や高齢者支援、地域福祉の充実、スポーツの振興等に向けた施策を推進します。

(1) 健康やかで安心・長生きできる環境づくり

(2) 特性を生かしたスポーツのまちづくり



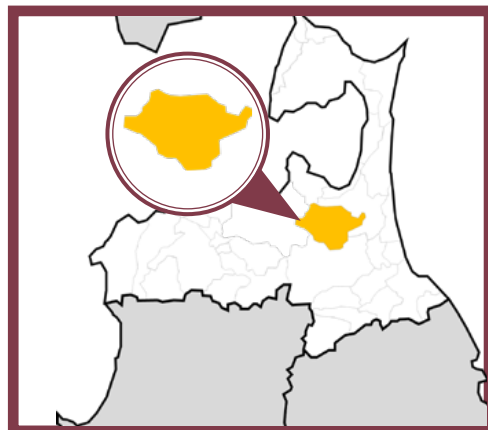
しちのへまち 七戸町



潤いと彩りあふれる田園文化都市を めざして

七戸町、天間林村は、合併により平成17年3月31日から新しい『七戸町』として生まれ変わりました。

新『七戸町』は、「潤いと彩りあふれる田園文化都市を目指して」を実現するために、「広域連携型のまちづくり」、「地域経済自立型のまちづくり」、「住民 参加型のまちづくり」を基本方針にし、住んでいる人も訪れる人も心の豊かさ実感できる魅力と活力のあるまちづくりを目指します。



出所：七戸町HP

資料提供
青森県 七戸町

〒039-2792
青森県上北郡七戸町字森ノ上
131番地4

TEL : 0176-68-2111
FAX : 0176-68-2804

七戸高校の魅力化を核とした教育の充実による 地域づくりプロジェクト

持続可能な地域づくりを担う人材育成を推進

令和3年10月に青森県立七戸高等学校の敷地内に「七戸公営 柏葉塾」を開設しました。

塾では、七戸高校生を対象に、自学自習方式により、基礎的な学力向上を図りながら、学校教育では学ぶことのできないキャリア教育、問題 解決型学習、地域の魅力の学習等、多様な学びの場を創出します。

そして、シビックプライドの醸成により、七戸町で働き生涯を過ごしたり、進学・就職等で町外に出たとしても七戸町に関わり続けられる人材の育成に取り組みます。

七戸町の将来を担う人材育成にご支援いただける企業様を募集します。
ご支援のほどよろしくお願いいたします。



はちのへし 八戸市



ひと・産業・文化が輝く 北の創造都市

八戸市は、太平洋を一望できる青森県の南東部に位置し、全国有数の水揚げ量を誇る水産都市として、さらに北東北有数の工業都市として成長を続けてきました。

豊かな海が育んだ旨味たっぷりの新鮮なイカやサバ、鶏だしなどの鍋に南部せんべいを入れて食べる郷土料理「八戸せんべい汁」も有名です。

市街地からほど近い場所には、令和5年5月に指定10周年を迎えた三陸復興国立公園種差海岸の美しい自然が広がるなど、漁業・工業・食・自然の魅力を合わせもつ街であり、夏にはユネスコ無形文化遺産「山・鉾・屋台行事」の一つに数えられる日本一の山車まつり「八戸三社大祭」が、冬には重要無形民俗文化財である豊年祈願の郷土芸能「八戸えんぶり」が開催されます。



～皆様からの温かいご支援をお待ちしております～



若者活躍応援・定着促進プロジェクト

当プロジェクトでは、若者や女性にとって“関わるほど面白い”まちづくりを目指しています！
雇用機会の拡大や地元企業の認知度向上、情報発信力の強化を図り、**若者が活躍**でき、**自己実現**や**地元定着**に向け**魅力あるまちづくり**を推進します！



PICK UP 事業

- ✓ まちの魅力創生ネットワーク会議事業
- ✓ サンフェスHACHINOHE開催支援事業
- ✓ インターンシップ受入支援事業
- ✓ 産学官連携Uターン事業
- ✓ はちのへ企業魅力発信×発見フェア
- ✓ 超帰省応援事業

「食のまち・八戸」推進プロジェクト

当市は、食を中心にした地域づくりが評価され「**美食都市アワード2026**」に選出されました！
今年度は、「**食のまち・八戸宣言**」の他、「**ワールドシーフードウォーク**」等の一大イベントを開催します！
今後も地域の食資源のブランド化と発信力強化を進め、「**食のまち・八戸**」の魅力を高めて観光誘客と地域経済の活性化を図ります！



美食都市アワード2026贈賞式(令和8年5月8日)

「ワインのまち八戸」を目指して

新産業として、農業振興のみならず、商工業や観光業にも繋がる、「**ワイン産業**」の振興を目指しています！
当市とぶどう生産者、ワイナリー、飲食店等の関係者が一丸となって、**おいしいワイン**になるよう頑張っています！



災害に強いまちづくり

東日本大震災をはじめ、昨年12月の青森県東方沖地震等、度重なる震災を経験してきた当市だからこそ、「**災害に強いまちづくり**」は最優先の使命です。
防災資機材の整備等により安全・安心な暮らしを支えます！



上記以外にも「子育て支援」、「まちづくり」、「産業振興」、「観光振興」、「教育」など、多くの地方創生事業を進めています！詳細は担当までお気軽にお問合せください。

【問合せ先】 八戸市 総合政策部 政策推進課 企業版ふるさと納税担当
☎ 0178-43-9233 ✉ seisaku@city.hachinohe.aomori.jp

お お ふ な と し 大 船 渡 市



**ともに創る やすらぎに包まれ 活気あふれる
三陸のにぎわい拠点 大船渡**

大船渡市は、「日本の渚百選」や「21世紀に引き継ぎたい日本の白砂青松百選」、「日本の音風景百選」に選定された基石海岸や「21世紀に残したい日本の自然百選」に選定された五葉山県立自然公園を有し、自然豊かなまちです。

本州一のさんま水揚量を誇る「大船渡港」を有していることもあり、海産物が有名です。

また、海と山が近いことからホタテやカキはうまみが濃いと有名です。

また、椿の里とも言われており、世界13カ国約550種類ものツバキを鑑賞することができる「世界の椿館・基石」があり、市内に多くのヤブツバキが生育しています。

出所：大船渡市HP、観光サイト



資料提供

岩手県 大船渡市

〒022-8501

岩手県大船渡市盛町字宇津野
沢15

TEL : 0192-27-3111

FAX : 0192-26-4477

主な寄附募集事業

大船渡市では、人々の心豊かな暮らし（Well-being）の向上と、持続可能なまち、社会、環境づくりを目指し、令和6年2月に「大船渡市デジタル田園都市国家構想総合戦略」を策定し、地方創生事業に取り組んでいます。企業のみなさまのご支援をよろしくお願いします。

◆林野火災復旧・復興事業



令和7年2月26日に発生した大規模林野火災により、影響を受けた方々の暮らしの再建となりわいの再生のために、復旧・復興事業を実施していきます。



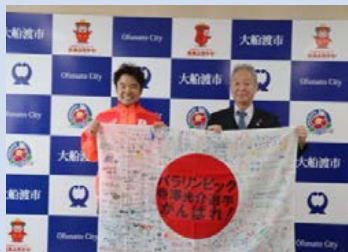
◆大船渡市こども家庭センター運営事業



子ども子育てに関する行政機能（各種手続き・相談）と交流機能（子どもの遊び場・子育て世帯の交流）を備えた総合支援拠点を市内商業施設で運営し、子育て環境の充実を図ります。



◆大船渡アスリート応援団事業



当市にゆかりのアスリートへの応援を通じて賑わい創出、活気あるまちづくりを推進します。

特に、MLBのロサンゼルスドジャース・佐々木朗希選手の応援をはじめとして、スポーツを通じたシティプロモーションを実施し、交流人口の拡大を図ります。



◆観光施設整備事業



日本最大・最古の椿である三面椿への案内看板の改修や、大船渡市の観光名所である穴通磯の公衆用トイレを改修し、観光客の利便性を図ります。



ほかに

- ◆水産・食産業の競争力強化事業
- ◆広域生活バス路線維持事業
- ◆全国椿サミット大船渡大会開催事業

制度要件など

- ✓ 大船渡市外に本社がある企業が対象です
- ✓ 1回当たり10万円以上の寄附が対象です
- ✓ 寄附企業様を市HP・広報などでご紹介します
- ✓ 贈呈式などを開催します（メディアに情報提供します）

詳しくは市のHPへ



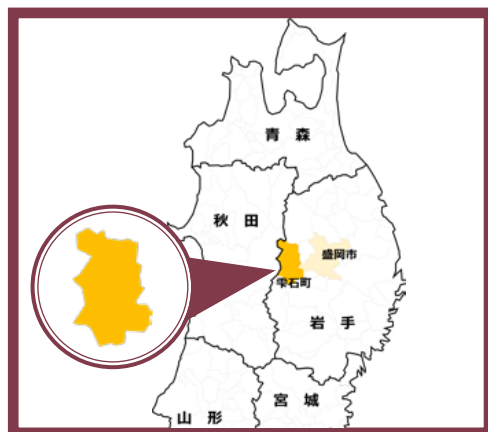
しずくいしちょう 雫石町



虹の似合うまち 雫石町

雫石町(しずくいしちょう)は、岩手の県都、盛岡に隣接し、交通アクセスに恵まれていながら、岩手山や駒ヶ岳などの美しい峰々に囲まれ、泉質も効能も全く違ういで湯が9か所あり、小岩井農場をはじめ、スキー場やゴルフ場も点在し、四季を通じて雄大な自然の中で遊ぶことができます。

かつては宮澤賢治もたびたび雫石を訪れ、作品にも登場した風景は、イーハトーブの風景地の一つとして国指定名勝にもなっています。



出所:雫石町シティプロモーションサイト

資料提供
岩手県 雫石町

〒020-0595
岩手県岩手郡雫石町千刈田5
番地1

TEL : 019-692-2111

01 いきいきと仕事のできるまちづくり

【具体的な事業(抜粋)】

1. 農林業の振興
 - ・ 農畜産物の付加価値を高める事業
 - ・ 農林業に従事する人材を支援する事業
2. 商工業の振興
 - ・ 中心市街地への人の流れを誘導する事業
 - ・ 就業者の地元雇用を促進する事業
3. 観光業の振興
 - ・ 外国人が安心して観光を楽しめる受入態勢を整備する事業

02 誰もが住みやすいまちづくり

【具体的な事業(抜粋)】

1. 移住者受け入れ態勢の整備と積極的な情報発信
 - ・ 新規雫石ファンの創出と拡大を推進する事業
 - ・ 移住をサポートする事業
2. 居住拠点の確保にかかる多面的支援
 - ・ 移住希望者が居住拠点を確保しやすいよう相談及び居住環境を充実させる事業
 - ・ 定住者に住みよい居住空間を提供する事業
3. 魅力的で快適な生活環境の提供
 - ・ 生活利便性の向上と魅力的な環境づくりを推進する事業

03 安心して結婚・出産・子育てができるまちづくり

【具体的な事業(抜粋)】

1. 結婚、妊娠、出産までの切れ目ない支援
 - ・ 妊娠から出産まで切れ目のない支援、子どもを産み育てたいと思える環境を整備する事業
2. 子育て・教育環境の充実
 - ・ 子ども達が楽しく安心して教育を受けられる環境を整備する事業
 - ・ 働きながらも安心して子育てに集中できる環境を整備する事業

04 特色ある地域づくりとみんなで支え合うまちづくり

【具体的な事業(抜粋)】

1. 特色ある地域づくりの推進
 - ・ 各地域が持つ地域力を発揮し、多様化する地域課題を自ら解決するための主体的な住民活動を支援する事業
2. 地域で支え合う環境づくり
 - ・ 地域における応急対応や防災力向上を推進する事業
 - ・ 「地域包括ケアシステム」の推進
3. 関係人口の創出・拡大
 - ・ 多様な主体と本町との関りを深め、つながりを強くする取り組みを推進する事業

もりおかし 盛岡市



輝きが増し 活力に満ち 夢をかなえるまち盛岡

ニューヨークタイムズ紙(電子版)に「2023年に行くべき52か所」の2番目に選ばれた盛岡市。盛岡市は東京から新幹線で約2時間の北東北の玄関口です。戦国時代に築城された盛岡城の城下町の雰囲気残り、東京駅の設計でも有名な辰野金吾氏が設計した、「岩手銀行赤レンガ館」をはじめとする大正から昭和初期時代の和洋折衷の建物が中心市街地に点在する、歩いて楽しめるまちです。おもてなしや市民のソウルフードとして生まれた「わんこそば」、「盛岡冷麺」、「盛岡じゃじゃ麺」は盛岡三大麺として観光客にも人気でお土産、返礼品の定番商品です。また、日本代表のトップアスリートが使用したことで注目の「南部鉄器」も盛岡市の特産品です。さらに、お米やりんごなどの農産物に日本酒やクラフトビールなどの地酒も盛岡ブランド品に認定されています。



出所:岩手県 盛岡市

資料提供
岩手県 盛岡市

〒020-8530
岩手県盛岡市内丸12-2

TEL : 019-651-4111

新規就農支援事業

農業従事者の高齢化及び後継者不足などによる農業者数の減少により、農業生産基盤の衰退が懸念されていることから、各種事業の実施によって円滑な就農の推進を図り、農業の担い手を確保し、持続可能な農業を将来にわたり実現する必要があります。

本市では、新規就農者を年間13人確保することを目標とし、就農準備段階から経営開始後まで一貫した支援体制を構築しています。

支援策として、国では「新規就農者育成総合対策」により、認定新規就農者に年間最大150万円を最長3年間交付するほか、機械・施設導入に対する補助（上限1,000万円、補助率3/4）を実施しています。

市では、親元就農給付金（年間60万円、最長2年間）、地域みらい農業人材支援事業（農業用機械・施設の導入・修繕等支援、スマート農業導入促進支援）、就農相談（随時）や各種就農相談会等への出展、新規就農者への市長による激励訪問などを行っています。

国では「新規就農者育成総合対策」を展開し、1から新規参入を志す方等に対して重点的に支援体制を構築しています。

一方で、親の農業経営を継がれる方に対しては、上記事業の利用に際して一定の制約が設けられるなど、就農者のすべてに支援が十分にいきわたっている状況とはなっておりません。

盛岡市では、新規参入の方もさることながら、親の経営を引き継ぐ方も、地域農業基盤を維持していく上で重要な支援対象と認識しています。そこで、独自に「親元就農給付金」制度を設け、後継者の親元での就農についても後押ししているところです。

こうした取組を今後も維持していくために、頂戴した寄附金を活用したいと考えています。本市の農業基盤維持に向け、皆さまからの支援をお願いしています。



第2期盛岡市まち・ひと・しごと創生推進事業計画
出所：岩手県 盛岡市

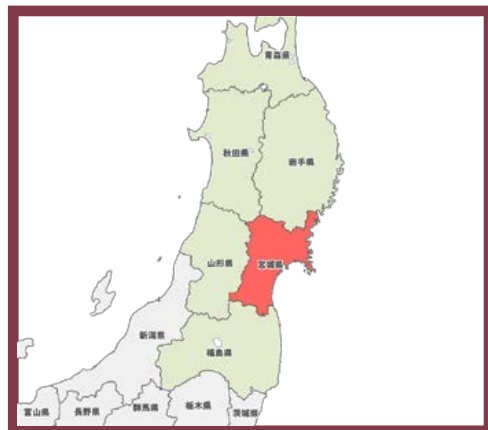
みやぎけん 宮城県



富県躍進！“PROGRESS Miyagi”

人口減少が続く中でも、県民が「生まれてよかった、育ってよかった、住んでよかった」と実感し、いつまでも安心して暮らせる宮城を目指し、主に次の取組を行っています。

- ① 子ども・子育ての応援：困難を抱える子どもへの支援や、地域が一体となった子育て環境の構築
- ② 地域社会活動の支援：次代を担う若者の育成、女性の県内定着促進、働く障害者の工賃向上支援
- ③ 脱炭素・グリーン社会の実現：沿岸の森づくりや生物多様性の保全、伊豆沼・内沼の自然環境再生
- ④ 震災復興・防災の推進：広域防災拠点の整備、地域防災リーダーの育成、「田んぼダム」の拡大
- ⑤ 「食材王国みやぎ」の躍進：若者の就農支援、食育・地産地消の推進、デジタルを活用した仙台牛のプレミア化
- ⑥ 文化・スポーツの振興：東北最高峰となる県立劇場の整備、生涯健やかに暮らせるスポーツ環境の充実



出所：宮城県

資料提供

宮城県総合政策課

〒980-8570

宮城県仙台市青葉区本町3丁目8番1号

TEL：022-211-2418

企業版ふるさと納税 で宮城県を応援してください！



寄附を募集する主な取組

宮城県の総合計画「新・宮城の将来ビジョン」に基づく全ての事業が寄附の対象になります。

子ども・子育ての応援

みやぎ・子どもの笑顔プロジェクト

貧困などの困難な環境に置かれている子どもたちへの食事の提供や居場所の確保などの支援を通じ、すべての子どもが、将来に希望を持ち、笑顔で暮らせる地域社会の実現を目指します。

子どもの未来を守ろうプロジェクト

児童虐待などの様々な事情により家族と離れて生活を送る子どもたちを支援し、児童精神科医によるメンタルクリニックでの診療を通じて、子どもたちが将来に希望を持ち健やかに成長できる社会を目指します。

地域で育てる子どもと未来

「学校・家庭・地域が一体となって子供を育てる活動」を通じて、地域の課題をみんなで解決する力を高めます。地域の未来を担う人材を育てながら、地域コミュニティの再構築を目指します。



脱炭素・グリーン社会の実現

みやぎ沿岸の森づくりプロジェクト

「2050年二酸化炭素排出量実質ゼロ」の実現に向け、海岸防災林の保育やその活動の普及啓発、藻場の造成・保全と海藻養殖の増産に向けた取組を推進し、グリーンカーボン・ブルーカーボンの両面から地球温暖化対策に取り組みます。

宮城県ネイチャーポジティブ推進事業

今、世界中で自然の豊かな恵みが失われ続けており、早急な対策が求められています。将来にわたり自然の恵みを享受できるよう、宮城県でも生物多様性の保全・回復を推進し、生物多様性を土台とした持続可能な社会への転換を目指します。

伊豆沼・内沼自然再生事業

伊豆沼・内沼は貴重な動植物の生息地で、毎年10万羽を超える渡り鳥が越冬しますが、近年その環境は大きく変化しています。本事業では地域の関係者と協働し、外来魚対策や浅瀬の再生、水草やカラスガイの繁殖・移植を進め、在来生物の回復と自然環境の再生を目指します。



企業版ふるさと納税 で宮城県を応援してください！



寄附を募集する主な取組

宮城県の総合計画「新・宮城の未来ビジョン」に基づく全ての事業が寄附の対象になります。

震災復興・防災の推進

広域的な防災体制の構築

東日本大震災の経験を踏まえ、大規模な災害が起きた際に、医療チームや消防・警察などが活動するための拠点となり、支援物資を集めて届けるための基地となる「広域防災拠点」を整備します。

未来につなぐ、みやぎ地域防災力強化事業

大規模災害時における「自助」「共助」の取組を進めるため、県主催の養成講習や防災意識の普及啓発を通じて、地域及び企業における地域防災リーダーを育成するとともに、市町村が行う自主防災組織等の活性化に向けた取組を支援し、自律的かつ持続可能な地域防災体制の構築を図ります。

田んぼの雨水ゆっくり排水プロジェクト

田んぼに降った雨を一時的に貯めてゆっくり流すことで、河川、排水路の急激な水位上昇を抑制し、下流の市街地等の浸水被害等のリスクを緩和する「田んぼダム」の取組を拡大します。



地域社会活動の支援

次世代を切り拓く若者の育成・支援

青少年を育成し、青少年の社会参加及び活躍を推進するため、宮城の次代を担うリーダー養成塾の開催や青少年の意見表明の機会を提供するほか、困難を抱える子ども・若者を支援します。

みやぎの女性応援プロジェクト推進事業

女性の県内定着を促進するため、大学生を中心に女性が活躍する県内企業への訪問やキャリア形成支援を行うとともに、働きやすい職場環境づくりへの支援やアンコンシャス・バイアスの払拭に取り組み、女性が生き生きと幸せを感じながら活躍できる社会の実現を目指します。

働く障害者の工賃向上支援

障害者の経済的自立と社会参加による共生社会を推進するため、県内企業・団体等による応援体制を構築し、福祉的就労施設が生産する商品や清掃などの業務受注機会の拡大及び働く障害者への理解促進を図ります。



主な取組や全事業一覧については、宮城県ホームページ「企業版ふるさと納税事業紹介」で紹介しております。

御希望に合う事業を御案内いたしますので、詳細は

宮城県 企画部 総合政策課

(☎ : 022-211-2418



: seisakuk@pref.miyagi.lg.jp)

までお問い合わせください。

「食材王国みやぎ」の躍進

若者の就農支援事業

若者や新規就農希望者を対象に、地域で活躍する若い農業者や農業法人等を巡る体験ツアーを実施し、本県農業の魅力を体感し「職業としての農業の現場」を知る機会を創出することで、県内就農を目指す若者を支援します。

食育・地産地消推進事業

次代を担う子どもたちを対象に、宮城の食を学ぶ機会を提供することで、県産食材の理解促進や食材を選択する力の育成、伝統的食文化の伝承などを進め、食育・地産地消の理解醸成を図ります。

デジタル技術を活用した仙台牛プレミアム化プロジェクト

消費者志向の多様化や「脂肪の量から質へ」の価値転換に対応するため、口当たりの良さに関連する脂肪酸等に優れた種雄牛の作出と、新たな「小ザシ（ロース芯に脂肪が細かくに入った状態）」指数の導入による他産地との差別化を推進し、仙台牛のプレミアム化を図ります。



文化・スポーツの振興

文化の灯を未来に繋ぐ～宮城県立劇場の整備～

県の文化芸術中心拠点として、また、東北最高峰の文化芸術拠点を目指し、2,147席のグランドホールやスタジオシアターを備えた宮城県立劇場を整備します。文化芸術を通して教育、観光など他分野まで活動が波及し、宮城県・東北の活性化に繋がることを目指します。

スポーツで広がる、子どもの可能性

子どもが社会生活に必要な能力を高めるには、幼児期から運動習慣の定着を図ることが重要であり、子どもたちが生涯にわたり健やかに生活できるスポーツ環境を整備することで、子どもの可能性を広げていきます。

スポーツによる地域活性化

県民それぞれのニーズに応じたスポーツに取り組める環境を整備し、生涯にわたり健やかに生活できる地域づくりを進めます。また、多様な主体によるスポーツイベントの開催等を通じ、地域の活性化を図ります。



りふちょう 利府町



ひと・こころ・まち きらめく躍動のステージ

利府町は、宮城県の真ん中に位置し、仙台市と隣接している為、ベッドタウンであり、海と山とスポーツのまちです。馬の背といわれる、波の浸食でできたもので、約250mほど海に突き出た姿は天然の栈橋ともいわれます。

また、表松島といわれる波静かな入り江に浮かぶ緑と奇岩が美しい、大型遊覧船では入れない自然が作り出した浸食による貴重な島々の風景をを観ることができます。体験漁やマリンレジャーを楽しめます。

また、「利府」といえば「利府梨」といわれる程、利府は梨栽培で有名です。「長十郎」・「幸水」・「豊水」・「二十世紀」・「あきづき」・「新高」・「早生赤」など多種の栽培がおこなわれています。



出所：利府町HP、観光サイト

資料提供

宮城県 利府町

〒981-0112

宮城県宮城郡利府町利府字新
並松4番地

TEL：022-767-2111

FAX：022-767-2101

01 快適な都市空間をつくる

持続的な人口増加を図るため、新たな都市開発の推進、公共交通の充実と渋滞緩和に向けた道路網の整備などにより、快適な都市空間を作る事業

【具体的な取組・事業】

- ・ 戦略的な土地利用の促進、土地区画整理事業や開発事業の誘導
- ・ 地域特性に即した公共交通網の形成、公共交通の利用環境改善、利用促進PR
- ・ 渋滞緩和及びアクセス向上に向けた幹線道路網の計画的な整備等



02 魅力ある地域産業をつくる

若者が希望を持って安心して働ける職住近接の環境づくりを目指し、魅力ある地域産業をつくる事業

【具体的な取組・事業】

- ・ 企業・大学・専門学校等の誘致、ベンチャー企業・若手人材の誘致促進
- ・ 交流・連携に向けた町内企業のマッチング支援、地域に根差した新商品開発、ブランド化、販路拡大、コミュニティビジネスの創出
- ・ 町内企業の人材確保、庁内企業の情報発信、教育機関との連携等



03 新しい人の流れをつくる

時代のニーズに即した柔軟性と独自性のあるまちづくりに向け、
新しい人の流れをつくる事業

【具体的な取組・事業】

- ・ 新たな住居確保、子育て・教育支援の充実、町全体の魅力の底上
- ・ 移住・定住の経済的支援、若い世代の定住促進、シビックプライドの醸成、U・I・Jターンの促進、空き家の活用、首都圏向けのシティセールス
- ・ 地域特性を生かした体験型観光の推進、交流人口の拡大、ふるさと納税など多様な関係人口の創出等



04 魅力ある地域産業をつくる

未来を担う子どもたちがいきいきと健やかに成長できるよう、結婚・出産・子育ての希望が
かなう環境をつくる事業

【具体的な取組・事業】

- ・ 子育て・教育の負担軽減に向けた経済支援、母子保健の充実、仕事と子育てを両立できる環境の整備
- ・ 子育て支援に関する拠点づくり、積極的な情報発信とプロモーション戦略
- ・ 児童・生徒の学ぶ意欲・姿勢や学力の向上、英語教育、情報モラル教育、ICTの活用など時代に即した教育環境づくり
- ・ 町全体で子どもを支える教育体制、豊かな人間性を育むための「志教育」の推進
- ・ 地域特性を生かしたマッチング機会の創出、総合的な婚活支援、婚活情報の発信等



特に財源を必要
 としています!

主 な 寄 附 対 象 事 業

新たなスポーツ文化の創造事業

東京2020オリンピックサッカー競技の開催地としてスポーツのまちづくりに取り組んできた利府町は、新たなスポーツ文化の創造にチャレンジします!

宮城県総合公園、利府ゴルフ倶楽部、宮城県サッカー場、甲子園に出場した利府高校や楽天2軍本拠地がある利点を生かし、それらをつなぐ拠点施設の整備に向けて動き出しています。

スポーツ交流拠点【合宿所・研修所・クラブハウス】

・町のシンボル ・女性活躍 ・スポーツツーリズム



町の特性を生かし、スポーツツーリズムによる交流人口の拡大を図りながら、女性アスリートの育成をはじめとした「スポーツによるまちづくり」に取り組み、町民のシビックプライドを育みます。

※各画像はイメージです。

イベント開催・誘致



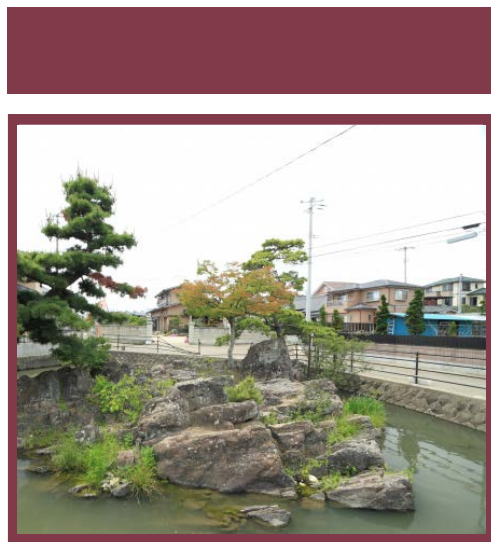
女性アスリート応援



スポーツ組織育成



た が じ ょ う し 多 賀 城 市



日々のよろこびふくらむまち 史都多賀城

多賀城市は、かつて東北最大のまちであり都から、はるか遠くにあるあこがれの地として深く印象づけられていたことから、多くの歴史を有するまちです。

市の名前の由来にもなっている多賀城は約1,300年前の奈良時代に、政府の支配の及んでいなかった東北地方を統治するための役所であり、当時の行政機関である「国府」と、兵士の駐屯・監督場所である「鎮守府」が置かれ、東北の政治・軍事・文化の拠点でした。多賀城跡は平城宮跡（奈良県）、太宰府跡（福岡県）とともに日本三大史跡に数えられています。そのため、市内には歴史的な遺跡・文化財が多く存在します。

また、多賀城跡から米袋に付けたと思われる「黒春米(こくしょうまい)」と書かれた木簡が出土していること、多賀城では遠い昔から米を作付けしていたという歴史的な背景を受け「古代米」というお米が特産品になっております。

出所：多賀城市HP、観光サイト



資料提供

宮城県 多賀城市

〒985-8531

宮城県多賀城市中央2丁目1-1

TEL : 022-368-1141

FAX : 022-368-8104

応援してください!!

多賀城創建**1300**年事業 —宮城県多賀城市—
宮城のはじまり、東北のはじまり。



多賀城創建記念

TAGAJO 1300th Anniversary
724-2024

2024年「多賀城」
創建**1300**年を迎えます

古代国家形成の上で重要な役割を果たした「多賀城」が、西暦2024年に創建1300年という記念すべき節目の年を迎えます。この創建1300年を祝う記念式典をはじめ、連綿と続いてきた悠久の歴史文化を顕彰しながら、豊かな未来へとつながる様々な文化・交流プログラム等を開催していきます。

東北はもとより全国各地の皆様にも足を運んでいただき、この東北の地で多くの人々が集い、交流し、絆を深め、新たな出会いから豊かな未来を創り出す原動力が生まれるよう関係者一同鋭意準備を進めていきますので、多くの皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

宮城のはじまり、東北のはじまり よろこび多き城

多賀城

多賀城市の名前は、神亀元年、西暦724年に創建し、陸奥国府が置かれるなど、古代東北の政治・文化の中心として繁栄した「多賀城」に由来しています。

その多賀城の名は、「賀(よろこ)び多き城」と読むことができるように、東北の安寧を願ってつくられた城と言われており、宮城県の県名の由来の一つと言われています。



多賀城創建記念

TAGAJO 1300th Anniversary
724-2024

記念事業

神亀元年（西暦724年）古代東北地方を治める拠点として本市の名前の由来である「多賀城」が創建されました。

重要文化財の「多賀城碑」にはその創建や修造の歴史が刻まれています。陸奥国府が置かれ、鎮守府も併せ置かれた多賀城は、東北の文化、経済、政治の拠点であり、多くの人やモノが行き交う文化の交流拠点となっていました。

松尾芭蕉は「おくのほそ道」の旅で「多賀城碑」と対面し、この碑が変わらぬ姿を留めているのを見て「泪も落つるばかり也」と感動の文章を「おくのほそ道」にしたためています。多賀城碑との対面が芭蕉の「不易流行」という俳諧理念を生んだといわれています。変わらずに残されてきた本質的なものを忘れずに、新しく変化を重ねていく流行を取り入れることで、かつて東北一円の文化の交流拠点であったという歴史を新しい形で次世代へとつないでいくとともに、新たな文化の発信や個性豊かな魅力を創出して、多賀城そして宮城・東北に新たな価値の創造と地域活力の一層の向上を目指します。

主な実施事業（総事業費5億円）

多賀城創建1300年記念式典

実施時期：2024年11月1日

内 容：古代儀式やアートが織り交じった式典の再現
現&アートイベントとのコラボレーション

事業費：1,160万円

古代装束の復元プロジェクト

実施時期：2022年～2023年。

2024年11月1日の記念式典で着用予定

内 容：古代甲冑・天平衣装復元

事業費：2,000万円

陸奥国印復元プロジェクト

実施時期：2022年～2023年。完成予定2023年9月

内 容：「陸奥国印」の印影復元を行い、印章復元

事業費：150万円

まんがでわかる多賀城の歴史

実施時期：2022年～2023年。刊行予定2023年10月

内 容：子供たちが、未来に向けて多賀城の歴史を伝えるため、まんが「多賀城の歴史」を制作する。

事業費：1,000万円

1300年記念事業三種のメインイベント。

子どもから高齢者までの参加型！

①おまつりプロジェクト

実施時期：2024年8月

内 容：東北各地に息吹く「踊り」と共演。
2024年には多賀城跡に共演者が集結し競演する。

事業費：1,000万円

②新作オペラ「（仮称）多賀城創世記」

実施時期：2024年11月

内 容：古代東北の政治・経済・文化の拠点であった栄華の記憶を音楽と映像と歌で綴る、新時代の新作オペラ。

事業費：1,000万円

③舞台劇「The winter's tale-冬物語」

実施時期：2024年11月

内 容：平安時代後期の東北地方を舞台にウィリアム・シェイクスピアの「冬物語」を翻案した舞台劇

事業費：1,000万円

2024年（令和6年）開催 多賀城創建1300年記念イベント

（制作進捗状況 2023.5.19）

主催：多賀城創建1300年記念事業実行委員会

三大プロジェクトNO.1 おまつりプロジェクト

- 実施時期：2024（令和6）年8月
- 開催場所：特別史跡多賀城跡
- コンセプト・事業概要 「いのちの営みを過去から未来へ。つなぐ、つなげる。」
この東北で千三百年という悠久の歴史の中で紡がれてきた、いのちの営み。
その「いのちのリズム」を和太鼓で、絶え間ない流れの中にある「動」を踊りで表現。
宮城を拠点に活動する和太鼓奏者Atoa.が東北各地に根づく伝統芸能と共演。
2024年には多賀城跡に東北6県の共演者が集結し競演する。
- スケジュール
 - ・2023年4月～ Atoa.が東北6県をめぐり、各地でワークショップ
 - ・2024年夏「おまつりプロジェクト」本番公演

三大プロジェクトNO.2 新作オペラ「（仮称）多賀城創世記」

- 実施時期：2024（令和6）年11月初旬
- 開催場所：多賀城市文化センター
- コンセプト・事業概要 「宮城のはじまり、東北のはじまり。」
多賀城が創建されるまでの千三百年のこの土地に刻まれた「記憶」を、
交響楽と映像と歌で綴る、
新時代の創作オペラ。テーマは「ともに生きる」
 - ・作曲 川島素晴（日本作曲家協議会副会長、国立音楽大学准教授）
 - ・音楽 仙台フィルハーモニー管弦楽団
 - ・演出 志賀野桂一

三大プロジェクトNO.3 舞台劇「THE WINTER' S TALE — 冬物語」

- 実施時期：2024（令和6）年11月初旬～12月初旬まで
- 開催場所：多賀城市文化センターほか
- コンセプト・事業概要 これまでの1300年、そしてこれからの1300年に向けて、「喪失と再生」、「生きる喜び」、「多様にあふれた未来」、「希望」をテーマに
ウィリアム・シェイクスピアの「冬物語」を翻案。
市民とともに創り上げていく、多言語（手話を含む）の演劇公演。
長年、東北を拠点として演劇活動をしているシェイクスピア・カンパニーにとっても新たな試みとなる作品
 - ・翻案・脚本 一般財団法人シェイクスピア・カンパニー
 - ・原作 『冬物語（The winter's tale）』 1610年 ウィリアム・シェイクスピア
 - ・翻訳 石井美樹子
 - ・演出 下館和巳（一般財団法人シェイクスピア・カンパニー理事長）

メインイベント 多賀城創建1300年記念式典

- 実施時期：2024（令和6）年11月1日
- 開催場所：特別史跡多賀城跡
- 事業概要 多賀城創建1300年記念の祝祭。
古代行事や儀式の再現など。
不変の価値と移りゆく新たな価値を融合させたアーティスティックな式典。



多賀城創建記念

TAGAJO 1300th Anniversary
724-2024

**宮城・東北の唯一無二の価値の創造と
地域活力の一層の向上を目指します。**

スケジュール

(開催時期は現時点での案であり、今後変更になる場合もあります)

2023年

10月～11月 まちじゅうアート

4月15日～6月11日
「悠久の絆
奈良・多賀城のみほとけ展」

12月31日～2024年1月1日
・オープニングイベント



2024年



鑑真和上坐像

8月 おまつりプロジェクト
10月～11月 まちじゅうアート

11月1日 多賀城創建1300年記念式典

11月 新作オペラ「(仮称)多賀城創世記」
舞台劇「The winter's tale -冬物語」
ドローンライトショー



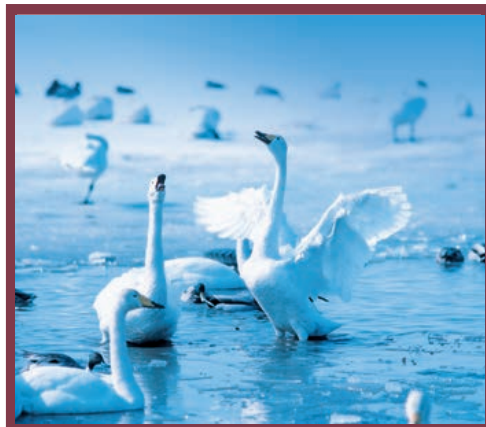
多賀城南門復元中



2025年

**日々のよろこびふくらむ多賀城へ。
東北の豊かな恵みを千三百年先の未来へ**

と め し 登 米 市

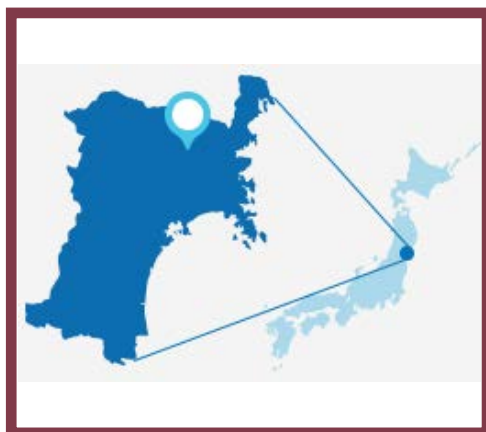


あふれる笑顔 豊かな自然 住みたいまち とめ

宮城県の北東部に位置し、北部は岩手県、西部は栗原市および大崎市、南部は石巻市および涌谷町、東部は気仙沼市および南三陸町に接し、総面積は536.09平方キロメートルです。

県内有数の穀倉地帯であり、宮城米「ササニシキ、ひとめぼれ」の主産地として有名な地域です。

圏域北西部には白鳥、ガンなどが飛来するラムサール条約湿地の伊豆沼・内沼、さらに南部には平筒沼があり、水の里としての様相を呈しています。



出所：登米市HP

資料提供
宮城県 登米市

〒987-0511
宮城県登米市迫町佐沼字中江
二丁目6番地1

TEL：0220-22-2111

登米市の地方創生の取組

登米市では、本市の将来像である「あふれる笑顔 豊かな自然 住みたいまち とめ」の実現に向け、登米市まち・ひと・しごと創生推進計画を策定し、各種取組を展開しています。

登米市まち・ひと・しごと創生推進計画

基本目標1：登米市の地域資源を活かし、産業の活性化による安定した雇用の創出

- ・工業用地への企業立地の促進
- ・企業立地奨励金を活用した新たな工業団地への企業誘致と市内企業の規模拡大などを支援

基本目標2：登米市に住み続けたい、住みたいと思える魅力のあるまちづくり

- ・登米市空き家情報バンクを活用し、移住・定住希望者を支援
- ・首都圏で開催される移住フェア等に参加し、参加者に対し本市での生活や支援について情報を提供

基本目標3：登米市で結婚し子どもを産み育てられる、子育てにやさしい環境づくり

- ・結婚相談会や自分磨きセミナーの開催
- ・他自治体との広域連携による出会いの場などを創出

基本目標4：登米市で生き生きと、安心して暮らし続けられる生活環境づくり

- ・コミュニティ組織への頑張る地域づくり応援交付金の財政的支援により、市民の主体的な地域づくりを推進
- ・コミュニティ組織への集落支援員の人的支援により、人材育成と組織体制を強化

令和5年度企業版ふるさと納税寄附募集事業

スマート農業機械整備事業

ICT、IoT技術等を活用した農業を促進し、農作物の生産性の向上及び作業の効率化を図るため、ドローンを導入する農業者等に対して導入費用を支援します。

事業費（令和5年度）
320万円

防犯対策物品（アーム開閉式刺股）購入事業

保育施設等の防犯対策の強化を図るため、防犯対策物品(アーム開閉式刺股)購入する。

事業費（令和5年度）
100万円

おおひらむら 大衡村



新しい時代につなぐ豊かな万里の里

大衡村は、人口6千人規模の自治体で、宮城県のほぼ中央に位置しています。

総面積60.32km²。東西16km、南北に7kmの東西に長い村です。南部は黒川郡大和町、東部は同大郷町、北西部は加美郡色麻町にそれぞれ隣接しています。

奥羽山脈に面した緑豊かな丘陵地にあり、達居森自然公園や牛野ダム湖畔などでは、季節ごとの美しい自然の姿を見ることができます。また、昭和万葉の森は県内有数のヤマユリの群生地であり、花の見頃を迎える時期には毎年たくさんの方が訪れます。

本村は明治22年の村制施行以来、先人たちが脈々と築いてきた歴史を礎に、新たな時代を迎えようとしています。近年では、自動車関連産業を中心とする多くの企業進出が目ざましく、令和5年度には台湾の大手半導体企業が本村への進出を発表する等、今後も益々の発展が期待されているところです。

本村はこれまで「万葉の里」をキーワードとしてまちづくりを進めてきており、「万葉」はすべての世、すべての草木、永遠の繁栄等を意味しています。これからも「万葉の里」をキーワードとして、新しい時代においても、自然環境や行政サービス等が豊かな村を持続し、未来につなぐことを目指してまいります。

出所：大衡村HP



資料提供

宮城県 大衡村

〒981-3692

宮城県黒川郡大衡村大衡字平林62番地

TEL : 022-345-5111

01 稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする事業

1. 大衡村の未来を担う人材を育成するため、企業と学校の連携に対して多様な支援を行い、村内企業への就業を促進。
2. 農商工等の連携を促進し、技術の高度化や販路拡大等、産業の育成。
3. 多様な企業誘致を推進。

【具体的な事業】

- ・ 個性ある専門教育の充実
- ・ 農業の振興
- ・ 商業の拠点形成 等



02 大衡村への新しいひとの流れをつくる事業

1. 多様な経済的支援等により、若者を中心としたU・I・Jターンを促進。
2. 移住・定住希望者の住まいの確保に向けて、景観・交通環境・防災等を考慮した魅力ある宅地開発を推進。
3. 移住・定住希望者の増加に向けて、大衡村の魅力やライフスタイル等の情報を広く発信。
4. 大衡村の豊かな自然や農産物、各種施設等の多様な資源を活用し、観光客の誘致。

【具体的な事業】

- ・ 奨学金返済の免除
- ・ 魅力ある住環境整備
- ・ 移住・定住相談窓口の充実
- ・ 観光まちづくりの推進 等



03 若い世代の妊娠・出産・子育ての希望をかなえる事業

1. 子どもを産み・育てることへの不安を軽減するため、経済的支援を推進。
2. 地域のサポート力の強化・親同士の交流促進・保育施設の機能の拡充等により、安心して子育てができる環境を整備。
3. 学校教育での学力向上に加え、家庭や地域における教育力の向上。

【具体的な事業】

- ・ 出産への医療・経済支援
- ・ 子どもを産み育てやすい環境づくり
- ・ 幼児教育の充実 等



大衡村まち・ひと・しごと創生推進計画
出所：大衡村HP

04 ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる事業

1. 消防・防災・交通環境等の整備を推進し、安心・安全な地域機能を確立。
2. 公共施設や空き家等の実態を把握し、適正な既存ストックマネジメントを推進。

【具体的な事業】

- ・ 消防・防災体制の強化
- ・ 公共施設の適正管理 等

05 多様な人材の活躍を推進する事業

1. 誰もが活躍する地域社会の推進に向けて、地域におけるコミュニティの形成。
2. 多様な人材の交流を生み出すため、地域間交流の振興。
3. 多様性に富む豊かな地域社会を形成するため、男女共同参画を推進。

【具体的な事業】

- ・ 生涯学習への参加促進
- ・ 交流推進体制づくり
- ・ 男女共同参画意識の啓発 等

06 新しい時代の流れを力にする事業

1. SDGsの実現などの持続可能なまちづくりの一環として、環境問題に対応するため、クリーンなエネルギーの実用化等への取り組みを推進。
2. 高い住民ニーズを踏まえて、民間活力や近未来技術の活用等により、新交通システム等の生活利便性の向上に向けた検討。

【具体的な事業】

- ・ 各種産業協働による活動組織の確立
- ・ 民間活力の導入 等

とみやし 富谷市



「住みたくなるまち日本一」を目指して

富谷市は、住宅地や商業施設などの都市機能と、大亀山森林公園をはじめとする豊かな自然、そして、江戸時代に奥州街道の宿場町として栄えた歴史ある街並みが現存する、バランスの取れた住みやすいまちです。

富谷市の人口は、大規模な住宅開発の進展による継続的な増加を続け、昭和35年から令和2年までの60年もの間、増加を続けてきました、現在はユニセフが提唱する「子どもにやさしいまち」や、ゼロカーボンシティに向けた取り組みなどを進めており、市の将来像に掲げる「住みたくなるまち日本一」を目指して、まちづくりを推進しています。

また、特産品としてブルーベリーやとみやはちみつが有名です。毎年「とみやスイーツフェア」を開催しており、市内のスイーツ店等が特産品を使ったオリジナルスイーツを販売し、「スイーツのまち＝とみや」を発信しています。

出所：富谷市



01 地域の魅力を生かした雇用創出の場を創出する事業

富谷市のまちづくり産業交流プラザ(TOMI+)を中心に起業家の育成に取り組むとともに、起業後のサポート体制を充実させる事業、多彩な働き方のスタイルを提案する事業、本市の発展に寄与する多様な人材を育成する事業、若年層に魅力ある就業機会を提供するため、企業の本社機能の誘致に取り組む事業

【具体的な事業】

- ・ 起業に向けた多面的かつ系統的な支援
- ・ 本市の課題解決や発展に寄与する多様な人材の育成
- ・ 若年層が勤務可能な企業の誘致
- ・ テレワーク等の多様な働き方が可能な環境の整備 等



02 とみやシティブランドの創出・発信により交流人口を拡大する事業

豊かな自然や魅力ある居住環境・就業環境についての情報を提供するほか、住宅地の整備に取り組み、移住者や定住者にとっての魅力を高める事業、新たな観光拠点「富谷宿観光交流ステーション(とみやど)」を中心に、地域の魅力を高める事業、とみやスイーツ等に代表される「とみやシティブランド」の発信拠点として、スイーツステーションを整備する事業、「とみやシティブランド」の魅力をさらに高めるため、富谷茶の復活に取り組む事業

【具体的な事業】

- ・ 富谷宿観光交流ステーションを中心とした交流人口の拡大
- ・ とみやシティブランドの確立、発信
- ・ 富谷茶をはじめとする新たな特産品の開発
- ・ 移住、定住施策の推進
- ・ 空き家の管理、利活用の推進
- ・ 持続的な発展ができる計画的な土地利用
- ・ 大亀山森林公園の利活用の推進 等



03 まちの未来を育てる環境を充実させる事業

子どもたちの学びをさらに深めるため、ICT教育環境の充実を図る事業、富谷市民図書館・児童屋内遊戯施設・スイーツステーションとの複合施設の整備を進める事業、「富谷市子どもにやさしいまちづくり宣言」実現に向けて、日本型子どもにやさしいまち(CFC)の実践に取り組む事業、子育てしやすい環境づくりのために、保育サービスの充実に努める事業、誰もが活躍できる男女共同参画社会の実現に向けて、政策・方針決定過程への女性参画を促進し、ワーク・ライフ・バランスを推進する事業

【具体的な事業】

- ・ 図書館を核とした複合施設の整備推進
- ・ 保育環境の充実
- ・ 教育環境の向上
- ・ ワーク・ライフ・バランスの取組推進 等



04 すべての世代が安心して暮らすことができる魅力的なまちを創造する事業

「都市・地域総合交通戦略(基本計画)」に掲げる各種施策の展開を進め、交通関連事業とまちづくりが連携した、総合的かつ戦略的な都市交通施策の推進を目指す事業、生涯安心して元気に過ごすことができる住環境整備の一環として、公営墓地とパークゴルフ場が一体となった「やすらぎパークとみや」運営事業、高齢者福祉の充実や共に支えあう地域づくりを推進する事業、脱炭素社会実現に向け、地球環境の貢献につながる取組を推進する事業

【具体的な事業】

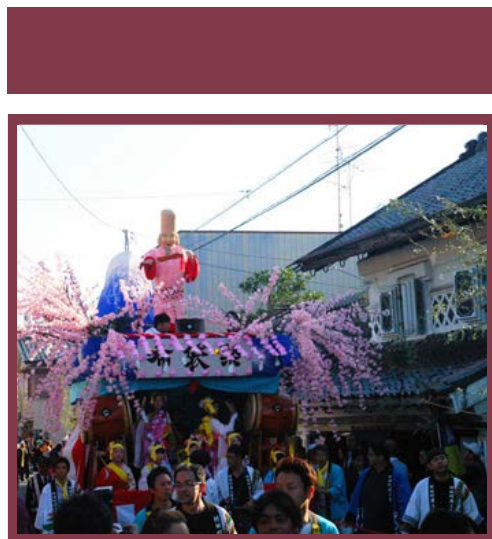
- ・ 基幹公共交通の整備促進
- ・ 交通結節施設の整備や民間バス路線網の再編等の推進
- ・ 公営墓地とパークゴルフ場との一体による複合施設の運営
- ・ 高齢者福祉の充実や共に支え合う地域づくりの推進
- ・ 市民協働による公共インフラの維持管理の推進
- ・ 脱炭素社会に向けた取組の推進 等



富谷市まち・ひと・しごと創生推進計画

出所：富谷市

むらたまち 村田町



安心して豊かに暮らせるまち むらた

宮城県南部に位置し、豊かな自然と穏やかな気候が魅力の村田町は、町内を白石川の支流荒川が南流し、この流域に沿って田畑が広がっています。

町中央部は、概ね平坦地で村田地区には市街地が形成されており、気候的には、比較的温暖で寒暑の差が少なく、降雪量も少ない気候条件にあり、四季を通して良好な環境を有しています。町中心部に位置する東北自動車道「村田IC」を利用すれば、仙台市や隣県の山形県・福島県が近く、都会に「ほど良く近い」まちです。近隣市町のJR 3 駅までは、車で約20～35分の距離があるため、生活には自家用車の必要性が高い地域です。

また、江戸後期からの商家町が町に現存し、宮城県で唯一、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されており、歴史的資源にも恵まれています。



出所:村田町HP

資料提供
宮城県 村田町

〒989-1392
宮城県柴田郡村田町大字村田
字迫6

TEL : 0224-83-2111

01 「子育て・教育」環境づくり事業

結婚・出産・子育ての切れ目ない支援、若い世代の出会いの場づくりだけでなく、結婚に対する意識づけや交流の場の確保、就業の安定化支援等による若い世代の経済的安定、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現に向けて取り組む事業等。

【具体的な事業】

- ・ 子供医療費助成の拡充事業
- ・ 地域保育環境づくり事業 等



02 「しごと・住まい」定住づくり事業

定住・移住・しごとの情報等、町の魅力を発信し、空き家データベース整備及び空き家バンク・遊休農地のデータバンクの整備や、移住前に「村田暮らし」を体験できる宿泊事業などに取り組み、ビジネスや田園回帰を求める方々への移住の機会を創出し、東京圏から地方への移住や地方出身者の地元での就職を促進するなど、地方への新しい「ひと」の流れをつくる事業。

【具体的な事業】

- ・ 就農者及び起業家セミナー事業
- ・ 定住促進事業補助金の拡充 等



03 「交流・協働」拠点づくり事業

本町の持つ地域資源を活かし、若者等にとって魅力ある雇用を生み出し人材育成の支援を図り、歴史的価値がある蔵の町並みや増え続ける耕作放棄地を活かし、地域ブランドを確立しながら活力にあふれる地域経済を構築し、地域密着の産業である農業や商工業など、様々な分野に魅力ある仕事の間を創出する事業。

【具体的な事業】

- ・ 道の駅・蔵の町並みを活用した産直所の設置
- ・ 民話の里整備事業 等



04 「元気・安心」地域づくり事業

地域機能を補い合うネットワーク・コミュニティの構築、地域における交流の場づくりを支援し、健康づくり推進事業の充実や生涯学習等の相互交流といった地域づくりのほか、地域高規格道路の整備などの基盤整備や、防災リーダーの養成による自主防災組織の育成・強化など地域の安全性・強靭性を高める事業。

【具体的な事業】

- ・ 子ども見守りネットワークの充実
- ・ 自主防災組織の強化 等



ざ お う ま ち 蔵 王 町



ずっと愛にあふれる オンリーワンなまち・ざおう

蔵王町は昭和30年、宮村と円田村が合併して誕生しました。東北の霊峰蔵王連峰の東麓、宮城県の南西部に位置し、町域の約6割が山林・原野で占められています。町の中央を松川が貫流し美しい渓谷の景観を作り出しています。蔵王連峰に連なる高原地帯には貴重な野鳥などが生息し、自然の宝庫となっています。町の東部は良好な水田地帯となっており、丘陵地を利用した果樹栽培も県下一の生産量を誇っています。また高原育ちの新鮮な牛乳から作られるチーズなどの乳製品は、品質の良さから全国的に人気があります。観光面でも県内有数の名湯遠刈田温泉を有し、毎年数多くの観光客や湯治客が訪れています。東北自動車道や東北新幹線など広域交通高速網の整備に伴い、町は高付加価値産業の振興を積極的に進め、新時代へ向けた発展の機を迎えています。



出所：蔵王町HP

資料提供

宮城県 蔵王町

〒989-0892

宮城県刈田郡蔵王町大字円田
字西浦北10

TEL：0224-33-2211

01 稼ぐ地域をつくとともに、安心して働ける地域を創出する事業

本町の特性を活かした地域産業、観光産業について収益性を高め若者等にとっても魅力のある仕事にしていくとともに、企業誘致や多様な働き方の支援等を行い、だれもが働く場を確保し、安心して働ける環境を支援していく事業

【具体的な事業】

- ・ 新規就農、創業支援事業
- ・ 観光プロモーション事業 等

02 蔵王町との繋がりを築き、蔵王町への新しい人の流れをつくる事業

町の魅力を活かした移住・定住の選択肢を増やしていくことで、本町で働きたい、子どもを育てたい、豊かな老後を過ごしたいという様々なニーズの掘り起し、町への移住・定住を推進する。さらに、人口減少下でも地域の活力を高めていくため、本町に関わりたいという様々な人とのネットワークを築き、経済や人の流れを作る事業

【具体的な事業】

- ・ 定住促進事業
- ・ 友好都市間交流事業 等

03 結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業

安心して子どもを育てられるように、結婚・出産・子育てについて一貫した切れ目ない支援を行う事業。

子育て家庭への支援のほか、仕事と子育ての両立を支援していくことで子育ての希望を叶える地域を構築していくとともに、未来を担う子どもたちが、ふるさとに誇りを持ち、いきいきと生活できる環境の整備に取り組む事業

【具体的な事業】

- ・ 幼稚園・こども園の給食無償化等による子育て世帯の経済支援
- ・ 婚活支援事業
- ・ 統合中学校建設事業 等

04 ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる事業

人口減が進む本町においても町民や移住者が安心して暮らせる地域社会を構築するため、本町に住み続けたいという「快適な住環境」と本町に住み続けられるという「安全・安心の確保」の2つの柱を戦略的に進めるための事業

【具体的な事業】

- ・ まちづくり交付金による住民活動活性化
- ・ 公共交通の維持確保
- ・ 自主防災組織の強化 等

まっしままち 松島町



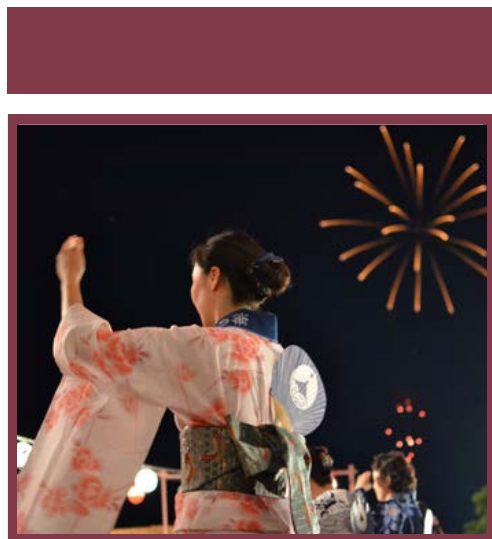
集い、学び、働き、 笑顔あふれる美しいまち 松島

松島町は、松島湾に浮かぶ260余りの島々が織りなす美しい景観から京都の天橋立、安芸の宮島と並び日本三景「松島」として古くから人々に親しまれています。あの俳聖松尾芭蕉やアルベルト・アインシュタインも松島の風景に魅了され、この地を訪れているほどです。

また、伊達政宗の菩提寺である国宝瑞巖寺や政宗の月見御殿である観瀾亭をはじめとする文化遺産を町内各地で見ることができ、古くからの歴史や文化が現在にも残る歴史のまちでもあります。

さらに、観光業はもちろんですが、農林業、漁業、商工業などの各産業がバランスよく発達し町の活力を支えています。特に、牡蠣の養殖は約300年前から続いており、小ぶりながら味が濃縮された牡蠣は松島の冬の風物詩としても有名です。

出所：宮城県 松島町



資料提供

宮城県 松島町

〒981-0215

宮城郡松島町高城字帰命院下一
19番地の1

TEL : 022-354-5701

FAX : 022-354-3140

松島町まち・ひと・しごと創生推進計画

ア 重点戦略①「定住」事業

松島町長期総合計画後期基本計画の目標年次である2025年の将来目標人口14,000人を達成するためには、子育て世代を中心とした若者の定住促進に努め、転出の抑制と転入の増加により、人口の社会減に歯止めをかけていく必要があります。

このため、住み心地の良い生活環境を保全・創出するため、都市部・農村部・山間部の地域の特性を生かした、人と自然が共生する土地利用に努めるとともに、鉄道駅や三陸縦貫自動車道等の交通利便性や仙台市に近接するという立地特性を生かし、若者の定住促進の受け皿となる新たな住宅地の整備を図ります。また、東日本大震災の経験を踏まえて、松島を訪れる方の避難を含め、地域が一体となって自助・共助・公助による防災体制を確立し、すべての人が安心して暮らせるまちの形成を目指します。

さらに、転入者への住宅確保の支援策を推進するとともに、町の魅力等を掲載した定住ガイドブックやホームページの空き家バンク制度等を活用した定住促進に関する情報提供に努めます。

具体的な事業

●産業拠点形成の推進のための基盤整備 ●定住促進の支援 等

イ 重点戦略②「子育て」事業

近年では、町立の保育所、幼稚園、小学校、中学校の園児・児童・生徒数は、少子化の影響等により減少傾向にあります。少子化が進む中、晩婚化や核家族化の影響等により、保育需要が多様化しており、こうした社会情勢の変化に対応した的確な子育て支援体制の整備が求められています。

このため、子どもが心身ともに健やかに育つことができるよう、保育の量的拡大・確保や児童福祉の強化を図るとともに医療体制の充実に努めます。また、子育てに関する相談体制や地域住民のニーズに応じた子ども・子育て支援の充実に図り、安心して子育てできる環境づくりを行います。

さらに、安心して学べる教育環境の充実はもとより、質の高い教育・保育の提供と子育て環境の整備に努め、地域や家庭との協力体制を強化し、学力向上と豊かな心を育む教育を推進するとともに、松島町の豊かな自然や歴史・文化等に学び、地域づくりの一翼を担う人材育成に努めます。

具体的な事業

●子育て支援の充実 ●教育環境の向上 等

ウ 重点戦略③「交流」事業

松島町は豊かな自然や由緒ある歴史的建造物を多く有し、「日本三景」のネームバリューにより多くの来訪者を集め、東北の観光を牽引してきた実績があることから、引き続き松島町の自然や歴史・文化を次世代に継承していく必要があります。

このため、良好な景観形成に努めながら、国際観光都市松島としてのブランドイメージの強化を図り、住民自らがまちに対する誇りと愛着を持てるような取り組みを推進していく必要があります。また、かき祭りやまつの市のイベントなど、住民・農林水産業関係者・商工業関係者らが観光を軸とした連携を図り、新たな観光資源の開拓や新商品の開発など魅力的な観光まちづくりに向けた取り組みの推進に努めます。

さらに、住民・団体・民間等と行政が一体となって、協働によるまちづくりが実現できるよう、地域のイベントなどに関する情報発信を行うとともに、人材育成や組織活動への支援等により、地域コミュニティの保全・育成に努め、地域内・地域間・世代間の交流促進に努めます。

具体的な事業

●新たな観光地づくり ●観光交流拠点整備 等

主要プロジェクト

子どもがのびのびと遊べる場創出プロジェクト

松島町では、町民の皆様の声を行政に反映させるためアンケートを行ったところ、「子どもの遊び場や公園を整備して欲しい」「多様な遊びや体験、活躍できる機会を充実させて欲しい」との声が多く寄せられました。

子ども達にとって、公園はただ遊ぶだけの場ではなく、遊びを通して社会性を身に着けることができる、健全な成長を促す大切な場と考えています。

このため、公園整備に着手したいところではありますが、現在、町では工業団地の整備や施設改修工事などの大型事業も重なっていることから、着手が難しく、劣化が進んだ遊具の撤去だけが進む状況となっています。

子供たちが思いっきり遊べる公園環境の整備に、皆様のお力添えをお願いいたします。



寄附で得られるベネフィット

感謝の印として、松島町より寄附額に応じた御礼をさせていただきます。

寄附による社会貢献を通して、寄附企業様のイメージアップや認知度向上につなげていただけますと幸いです。

※なお、いずれの内容においても、寄附企業様の意向を踏まえて実施を判断します。

10万円以上

- 松島町ホームページに掲載(企業名とホームページのリンク先)
- 御礼状の送付

50万円以上

- 松島町ホームページに掲載(企業名とホームページのリンク先)
- 感謝状の送付

100万円以上

- 松島町ホームページに掲載(企業名とホームページのリンク先)
- 町長からの感謝状贈呈

※状況に応じて内容が変更になる場合があります。

松島町の企業版ふるさと納税情報はこちらから>>>



■問い合わせ先
松島町企画調整課
所在 松島町高城字帰命院下一19番地の1
TEL 022-354-5702(直通)
FAX 022-354-3140
E-mail kigyoutown@matsushima.miyagi.jp

松島町まち・ひと・しごと創生推進計画
出所:宮城県 松島町

いわぬまし 岩沼市



子育て世帯にとって No.1のまちを目指して

岩沼市は仙台駅から電車で約20分という便利な立地にあり、通勤・通学に適した環境が整っています。また、東北の玄関口である仙台空港が所在しており、交通アクセスに優れた、暮らしやすい人気の街です。本市では、子育て世代に選ばれる街No.1を目指し、企業誘致や宅地開発を進めるとともに、子育て支援やICT教育の充実に力を注ぎ、全国からも注目されています。

また、日本三稲荷の竹駒神社や商売繁盛のご利益のある金蛇水神社、震災伝承施設の千年希望の丘には毎年多くの観光客が訪れます。



出所：宮城県 岩沼市

資料提供
宮城県 岩沼市

〒989-2480
宮城県岩沼市桜一丁目6番20号

TEL：0223-23-0386

01 安定した雇用を創出し維持する事業

地域産業の活性化を図るとともに、積極的な企業の誘致や農・商・工業など各産業を発展させる基盤整備、経営・創業支援の充実等により雇用の創出と維持に努め、働きやすい地域づくりに取り組んでいくほか、生涯現役社会の実現、若者や女性、高齢者等が活躍できる社会の実現、起業等に挑戦できる環境づくりに取り組んでいく事業。

【具体的な事業】

- ・ 仙台空港等を活かした産業振興
- ・ 地域経済の持続的な発展
- ・ 強い農業づくり 等



02 新しいひとの流れをつくる事業

SNSやふるさと納税等を活用し、地域の情報を積極的に発信するとともに、リニューアルを行う「ハナトピア岩沼」や「千年希望の丘」などを通じて、交流人口・関係人口の拡大を図るほか、定住者の確保・維持に向けて、企業、団体との連携や行政サービスのデジタル化を図りながら、「住んでみたい」「住み続けたい」と思えるまちづくりに取り組んでいく事業。

【具体的な事業】

- ・ シティプロモーションの推進
- ・ 交流人口・関係人口の創出・拡大
- ・ 定住者確保に向けた取組の強化 等



03 結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業

地域の中で安心して結婚・出産・子育てができる環境を整備するとともに、特色のある教育環境の充実に取り組んでいく事業。

【具体的な事業】

- ・ 結婚・出産への支援
- ・ 地域の中でのこども・子育て支援の充実
- ・ 学校を核とした教育機会の充実 等



04 共創のまちをつくる事業

住民、企業、各種団体、行政のそれぞれが役割を果たし、地域コミュニティを活かして、“共に創る”まちづくりに取り組んでいくほか、地域の実情に応じた地域社会を構築していくため、まちづくりの担い手を育成し、安全安心なまちづくりに取り組むとともに、多様な主体の連携・参画による活力ある地域づくりを推進し、誰もが生きがいを持ち、健やかで生涯活躍できる地域社会づくりに取り組んでいく事業。

【具体的な事業】

- ・ 地域の担い手を育む環境整備
- ・ 安全安心対策の強化
- ・ 地域連携による活力ある地域づくり 等





令和8年度



岩沼市中学生海外派遣事業

事業概要（予定）

目 的	次代を担う中学生が海外の文化に触れ、グローバルな視点を養うことを目的に実施
派 遣 先	アメリカ合衆国デラウェア州ドーバー市とその周辺都市
派 遣 期 間	令和9年3月 12日間
人 数	市内中学生 10名程度
引 率	教育関係者 1名、市職員 1名
参加負担金	20万円程度

スケジュール（予定）

7月	団員募集
8月	団員選考
10月～2月	事前研修
3月	派遣
4月	報告会



ドーバー市と岩沼市
 平成15年11月 友好都市締結

なとりし 名取市



愛されるふるさと なとり ～共に創る 未来へつなぐ～

名取市は温暖な気候・風土に恵まれ、豊かな自然環境を有する暮らしやすいまちです。名取の豊かな環境で育ち全国的に高い評価を受けている閑上の「赤貝」、江戸時代から栽培が続けられている「仙台せり」、東北一の生産量を誇る「カーネーション」などの特産品が自慢です。

東北の空の玄関口である仙台空港があり、東北新幹線・東北本線・仙台空港アクセス線などの鉄道網に加え、東北自動車道や仙台東部道路・国道4号線が縦貫しているなど、交通網も発達しています。

また、政令指定都市の仙台市と隣接し、通勤、通学にも便利で、多くの子育て世帯に選ばれるまちとして「子育て・教育先進都市」を目指した取組を進めています。これからも市民の皆さまが心のふるさととして、愛着と誇りをもって暮らしていけるまちづくりを推進していきます。



出所：宮城県 名取市

資料提供

宮城県 名取市

〒981-1292

宮城県名取市増田字柳田80

TEL：022-384-2111

01 仕事をつくる事業

安定的で収益性の高い農業経営を実現するため、6次産業化及び集落営農・法人化の支援や新規就農者の育成・確保に取り組む事業

漁業と水産加工業を含む地域水産業の一体的な振興に向け、特産品の開発支援やブランド化、水産物の付加価値向上に取り組む事業

産学金連携や異分野・業種間の企業連携を促進し、新たな商品・技術・サービス等の創出を支援するとともに、販路拡大や経営力の強化と人材育成に向けた支援の充実を図る事業

本市の地理的特性や産業基盤等の強みを生かすとともに、新たな産業基盤を整備し、立地企業に対する優遇施策の充実など立地優位性を確立し、企業誘致を推進する事業

オフィスの確保や資金面での支援、経営指導や情報提供等、本市での起業を支援する事業

労働力の確保に向けて、高齢者や女性等の活躍の場の創出や外国人労働者の活用促進、人材育成等に取り組む事業

【具体的な事業】

- ・ 地域の実情に合わせた集落営農組織や法人化を促進し、強固な農業経営体と次代につなぐ生産体制の構築
- ・ 赤貝の廉価流通の抑制や出荷品質基準の検討
- ・ 地場産品の販売などに取り組む事業者への支援
- ・ 区画の整備等新たな工業基盤の整備
- ・ 市内の空き店舗を活用した中心市街地等における新規創業の支援 等



02 人の流れをつくる事業

地域特性を生かした観光資源の活用・造成により、国内外からの観光誘客に取り組む事業

移住・定住を促進するため、土地の高度利用や空き地の活用、住宅団地の活性化を図り、魅力と利便性を備えた居住空間の創出を図る事業

なとりブランドの育成や、情報発信力の強化により、本市の魅力が伝わり、広がる好循環を生む仕掛けづくりを推進する事業
交流人口・関係人口の拡大を図るとともに、本市に住み続けたい、市に愛着と誇りを持つ市民を増やす事業

【具体的な事業】

- ・ サイクルスポートセンターや名取トレイルセンターを拠点に自転車やトレッキング、カヌー等による、人力で楽しむ観光を推進
- ・ 周辺地域との広域連携による観光誘客の仕掛けづくりやPR、海外からの誘客等への取組
- ・ テレビ、雑誌、ウェブサイト、SNSなどのほか、新たな手段も取り入れた効果的なプロモーション・情報発信
- ・ 移住支援金支給事業 等



03 結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業

妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない相談支援の充実を図り、養育のための知識普及や育児不安を解消する事業
仕事と子育ての両立を支援するため、保育ニーズの拡大に対応する提供体制の確保に努めるとともに、質の高い多様な保育サービスが充実する事業

地域における多様な体験・交流活動や安心して過ごすことができる居場所づくりを推進するとともに、地域ぐるみで子育て家庭を支えるしくみの充実を図る事業

結婚を希望する方に対し、出会いの機会の創出を図るため、婚活の支援に関する各種制度や出会いの場の周知を図る事業

【具体的な事業】

- ・ 不妊検査費・不妊治療費助成事業（男性不妊も含む）
- ・ 待機児童の解消と保育内容の充実を図る事業
- ・ 家庭での子育てに不安や困難を抱える家庭への早期介入と継続的な支援体制の充実を図る事業
- ・ 子どもたちが天候に関わらず遊ぶことができる屋内遊戯施設の整備
- ・ 市民団体が実施する子ども食堂の取り組みへの支援する事業 等



04 魅力的な地域をつくる事業

市民一人ひとりが様々な災害・危機を想定しつつ、それぞれの置かれた状況に応じて対策・準備を行うため支援する事業
関係機関や近隣市町と連携し、医療体制の確保及び救急医療体制を強化する事業

生涯にわたって主体的な学習活動を支援するため、市民ニーズに応じた学習機会の充実を図るとともに、学習成果を発表する場の充実や学習で得た知識・技術を地域に還元する場を創出する事業

市民が安全に安心してスポーツができる施設・設備の計画的な整備と、指導者を確保する事業

市民が自然に触れることのできる場の整備や機会の充実を図るとともに、環境教育やレクリエーション活動等への活用を図る事業

安全な道路環境の維持管理と利便性の高い幹線道路の整備、仙台空港周辺の土地利用を促進するとともに、ニーズに対応した公共交通体系を構築する事業

多様な主体がまちづくりの方向性や地域課題を共有するため、様々な機会や媒体を通じてわかりやすい形で情報発信するとともに、市民の意見をまちづくりに反映するための機会の充実を図る事業

【具体的な事業】

- ・ 地域防災の要となる自主防災組織の組織化を支援するとともに、自主防災組織の防災訓練への参加等により、組織力の維持・強化を促進する事業
- ・ 市民に的確な災害情報を迅速に伝え、災害の被害拡大を防止するため、Jアラート及びJアラート連動システム並びに防災行政無線の整備、コミュニティFMの活用等、情報提供環境の整備を推進する事業
- ・ 屋内・屋外体育施設の整備を図り、市民にとって利用しやすい施設環境を維持する事業
- ・ 「自分たちのまちは自分たちでつくる」を主眼とし、将来を担う小中高生が提案、実施する自主的な活動を支援することもファンド事業 等



なとりコイン



おながわちょう 女川町



あたらしいスタートが 世界一生まれる町へ。 START! ONAGAWA

女川町は、宮城県の東、牡鹿半島基部に位置する風光明媚な港町で、カキやホタテ・ホヤ・銀鮭などの養殖業が盛んで、世界三大漁場の一つである金華山沖漁場が近いことから、魚市場には年間を通じて豊富な魚種が数多く水揚げされています。

東日本大震災で大きな被害を受けましたが、全国からの温かい支援を受けながら力強い復興を遂げ、女川駅を中心に整備された美しい街並みは多くの観光客や地元の人々に親しまれており、特に「道の駅おながわ」内の商業施設「シーパルピア女川」や「地元市場ハマテラス」では、新鮮な海産物や地元の特産品が楽しめ、にぎわいを創出しています。

また、「あたらしいスタートが世界一生まれる町へ。START! ONAGAWA」のスローガンのもと、スタートアップ支援にも力を入れ、未来に向けた持続可能な地域づくりを推進しています。

出所：宮城県 女川町



資料提供

宮城県 女川町

〒986-2265

宮城県牡鹿郡女川町女川一丁目1番地1

TEL : 0225-54-3131

01 海と山が感じられ、誰もが暮らしたくなる安全・安心・快適なまち推進事業の確保事業

安全・安心に暮らせる環境及び生活の質の向上・維持を図る。

【具体的な事業】

- ・ 防災意識向上のための啓発活動の推進
- ・ 災害に備える体制や施設を整備し、円滑な防災行動を実現
- ・ 交通マナーを向上させ、町内の交通安全の実現を推進
- ・ 復興まちづくり後の新たな地域でのコミュニティ形成を推進し、地域住民の活動を支援 等

02 未来に向かって海と人が輝き、地域を支える産業のまち推進事業

豊かな水産資源・森林資源等を活用した地域産業の振興を図る。

【具体的な事業】

- ・ 女川町地方卸売市場の機能の強化
- ・ 漁港・港湾・水産施設の基盤整備
- ・ 森林保全のための基盤整備
- ・ 農地・森林等の活用の促進
- ・ 商工業事業者に対する包括的な支援の推進 等

03 地域の支え合いとつながりで一人ひとりの幸せが実現するまち推進事業

住民同士が支え合い、心身ともに健康に安心して暮らせるまちづくりを推進する。

【具体的な事業】

- ・ 地域住民の交流の活性化やコミュニティづくり
- ・ 町内で持続可能な医療体制の維持
- ・ 高齢者や障害者の福祉のための支援策やサービスの充実
- ・ 生活困窮者等への支援策の充実
- ・ 子育て世代をサポートし、子育てを支える地域の実現を推進 等

04 町民全体が生涯にわたって学び合い、心豊かに、生きる力を育むまち推進事業

夢に向かい成長していける教育・生涯学習環境の整備を推進する。

【具体的な事業】

- ・ 施設一体型小中一貫教育学校での切れ目のない教育の推進
- ・ 子供たちの夢を実現するため学力向上の推進
- ・ 生きる力を育むために「みやぎの志教育」の推進
- ・ 文化財の保護・保存・活用の推進 等

05 効率的・効果的な行財政運営と協働による持続可能なまち推進事業

公と民が協働し、地域資産等を活用したまちづくりを推進する。

【具体的な事業】

- ・ 広報活動を通じた、まちの魅力や価値の発信
- ・ 公民連携による公有財産の活用や適切な維持管理の推進
- ・ 地域の住民が自立し、まちづくりに参加することができる仕組みづくり
- ・ 行政・町民・民間事業者の役割分担を見直し、まちづくりの推進 等

にしかわまち 西川町



月山のある町

西川町は、昭和29年10月に西山村、川土居村、本道寺村、大井沢村の4か村が合併して誕生しました。町名は、西山村、川土居村の両村が設置した西川中学校組合の名称に由来します。

山形県のほぼ中央、県都山形市の西方 32kmに位置しており、磐梯朝日国立公園の朝日連峰や月山とその支脈に囲まれています。県内有数の豪雪地帯で、多い地区では5mを超える積雪があります。

町のシンボルでもある月山では春、夏スキーを楽しむことができ、毎年4月上旬から7月下旬までの間、約15万人のスキーヤーやスノーボーダーで賑わいを見せています。

出所：西川町HP



資料提供

山形県 西川町

〒990-0792

山形県西村山郡西川町大字海
味510番地

TEL：0237-74-2111

地方創生2.0の実現へ

官民連携強化に向けて「つなぐ課」「かせぐ課」

山形県西川町

第2世代交付金申請事業費は、14.9億円！
町民・関係人口・町が力を合わせ、課題解決を実践しています。

企業版ふるさと納税を通して、協働・支援いただく
企業の皆様、お待ちしております！



①地ビール醸造・体験施設の整備



地ビールの増産や醸造体験のできる
新たな施設整備のほか、ビアガーデン
などが楽しめる芝生広場を整備し、
交流人口拡大と稼ぐ力の強化を図り
ます！

【事業名】
道の駅を核とした
ローカルビジネス構築事業

②子育て世帯を対象とした山村留学の受入



保育園や小学校に通学・通園をしながら、
西川町の自然や文化、食を堪能
できる留学プログラムを実施し、関係
人口創出や移住人口増加を目指します！

【事業名】
山村留学が紡ぐ移住促進・
産業創出事業

その他にも、先進的な取り組みを実施しています

- 廃校グラウンドを活用した木質バイオマス発電等の産業創出拠点施設の整備
- 未来を担う子ども達の教育費用を支援する教育ローン「帰ってきてけローン」
- まちづくり官民ファンドを活用した空き家再生プロジェクト
- 西川町の自然や食、温泉を楽しむONSENガストロノミーツーリズム

③AI謎解きゲームによる周遊型観光創出



町独自の自然文化や山岳信仰を取り入れた謎やストーリーをAIと対話しながら周遊する謎解きゲームで、交流人口拡大を図ります！

④DAOを活用した住民参加型水道施設管理



今後の水道施設の維持管理について、DAO（分散型自律組織）を活用し、町民等がサポートする組織体制を構築し、インフラクライシスに地域全体で対応していきます！

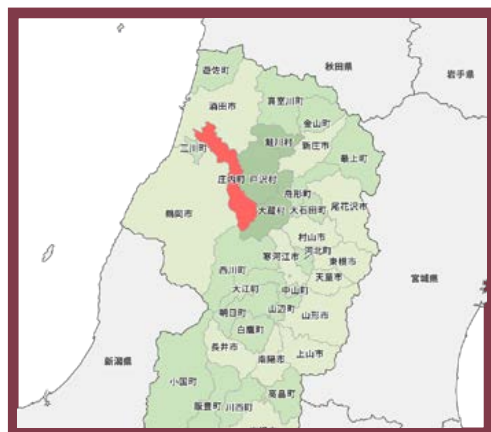
しょうないまち 庄内町



おいしいお米のふるさと 庄内町

山形県の北西部にある庄内町は、米どころ庄内平野の南東部から中央にかけて位置し、全国に流通する「つや姫」や「はえぬき」、「コシヒカリ」などの美味しいお米のルーツとなった、「亀ノ尾」と「森多早生」の発祥の地です。栄養豊富な堆積土と豊かな水利、夏季の高温と長い日照時間、台風が直接来襲することがほとんどない地勢・気候の好条件は、米作りに絶好の土地です。加えて、品種改良への情熱と農事改良などの努力により、今日の「美味しいお米」主産地形成の基礎が形作られています。

また、霊峰月山の頂を有し、月山を源とする清流立谷沢川は「平成の名水百選」に選ばれました。さらに日本三大悪風の一つともいわれる「清川だし」を利用して、自治体としては初となる風力発電事業への取り組みを実施し、環境省の「新エネ百選」にも選ばれました。



出所：山形県 庄内町

資料提供

山形県 庄内町

〒999-7781

山形県東田川郡庄内町余目字
町132-1

TEL：0234-43-2211

1 新たな産業の創出と安心して働ける環境をつくる事業

職種・雇用条件等のミスマッチの解消をはじめ、活力に満ちた農林水産業づくり、地域産業を支える人材の確保・育成の強化と働きやすい環境づくりを進めていく事業。

《具体的な事業》

- 農林水産品・加工品のブランド創生に取り組む事業
- 新規就農促進、低コスト農業加速化を目指した事業
- 中小企業や起業・創業者への支援の充実、商工業の基盤の安定を促進、企業誘致、空き店舗の利活用等、地域経済の発展を目指した事業

2 いつまでも住みたいと思えるまちをつくる事業

結婚・妊娠・出産・子育て支援の強化を通じて若い世代の希望をかなえるとともに、誰もが安心して適切な医療・介護などの支援を受けられる持続可能な体制を構築し、安全・安心な生活基盤の整備を進めることで、生涯にわたり住み続けたいと思えるまちをつくる事業。

《具体的な事業》

- 婚活や若い世代の結婚に伴う新生活を経済的に支援する事業
- 子どもの健やかな育ちと保護者の子育てを支援するため、時代に応じた子育てニーズの把握に努め、多様化に対応したサービスを提供する事業
- 安全・安心な生活基盤を確保する事業

3 地域資源を活かした魅力あるまちをつくる事業

農工商や観光といった地域資源を最大限に活用し、教育機関と連携して郷土愛の醸成をするとともに、移住・定住施策に取り組み、関係人口の創出・拡大と定住につながるよう、町の魅力を高める事業。

《具体的な事業》

- 教育機関等との連携によるまちづくりに取り組む事業
- 住んでよし訪れてよしの観光地域づくりに取り組む事業
- 定住促進施策を継続的に実施するとともに、移住定住希望者のニーズを把握しながら、効果的な取組を推進する事業

4 将来を見据えたまちをつくる事業

地域資源を最大限に活用し、他地域との連携を推進することで、将来にわたり持続可能なまちづくりに取り組むとともに、拠点の形成や、利便性向上のための公共交通ネットワークの再編、デジタル技術の利活用を積極的に推進したスマート自治体づくりを目指す事業。

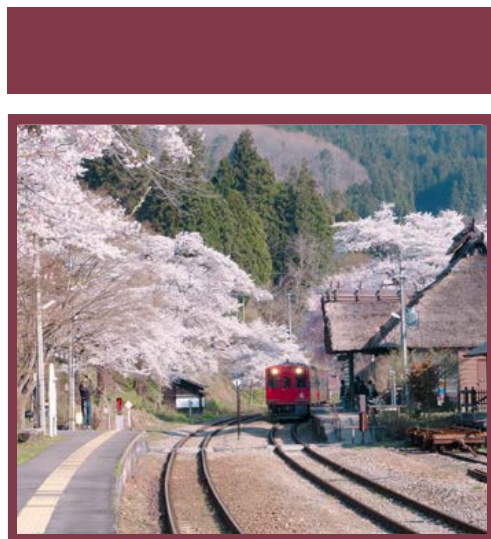
《具体的な事業》

- 地域コミュニティの活性化と交通ネットワークづくりに取り組む事業
- デジタル技術を活用した事業
- 持続可能な環境づくりに取り組む事業
- 魅力ある教育環境の環境を整備する事業

※記載の事業以外にも、「第3期庄内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に記載されている場合は対象事業となる場合があります。

庄内町まち・ひと・しごと創生推進計画
資料提供：山県県 庄内町

しもごうまち 下郷町

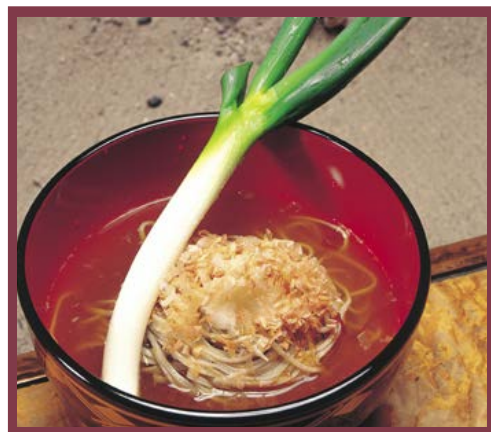


魅力あふれる未来へつなぐまち ^{しもごう}下郷

下郷町は、福島県会津地方の南部に位置し、那須連山などの山々に囲まれ、町の中央を阿賀川(大川)が流れる自然豊かなまちです。春は桜、夏は新緑、秋は紅葉、冬は雪景色と、四季折々の美しい風景が楽しめます。

江戸時代には会津と日光を結ぶ宿場町として栄え、現在も茅葺き屋根の町並みが残る国重要伝統的建造物群保存地区「大内宿」は、当時の面影を今に伝えています。

また、国の天然記念物「塔のへつり」や湯野上温泉、観音沼森林公園など、歴史と自然を満喫できる観光地が数多くあり、多くの人々を魅了しています。



出所:福島県 下郷町

資料提供
福島県 下郷町

〒969-5345
福島県南会津郡下郷町大字塩
生字大石1000番地

TEL : 0241-69-1144

01 夢や希望がかなう社会をつくる事業(ひと)

結婚・妊娠・出産・子育て支援の充実、健康長寿社会の実現、学力向上の推進、誰もが活躍できる社会の実現等に資する事業

【具体的な事業】

- ・ 結婚祝金、結婚新生活支援事業、出会いの場創出
- ・ 地域医療体制の確保
- ・ A L Tによる外国語授業や I C T教育
- ・ 乳幼児期から学校卒業まで一貫した保育・医療・教育の充実 等

02 安心して豊かに過ごすことができる暮らしをつくる事業(暮らし)

安全・安心で魅力的な暮らしの実現、環境と調和・共生する暮らしの実現等に資する事業

【具体的な事業】

- ・ 新たな設計手法や技術の導入した道路の維持管理
- ・ 高齢者除雪支援事業
- ・ 行政区を中心に地域が主体となって取り組む地域課題解決のための取り組みに対する支援
- ・ デジタル技術を活用した行政手続きのオンライン化 等

03 いきいきと活躍できる仕事をつくる事業(しごと)

活力ある企業の創出、魅力ある農林業・商工業の展開、若者の就業を促進する事業

【具体的な事業】

- ・ 雇用環境改善のための取り組み支援
- ・ 多様な担い手(新規就農者、認定農業者や農業法人等)の確保と育成
- ・ 地場産業の振興と販路拡大
- ・ 若者や女性、高齢者を含めた就労支援 等



04 新しいひとの流れをつくる事業(人の流れ)

移住・定住の促進、交流人口の拡大等に資する事業

【具体的な事業】

- ・ 移住の推進
- ・ クラインガルテン下郷の利用促進
- ・ 持続可能な観光地づくりの推進 等

